

平成24年第1回定例会
(第2日目)

津別町議会会議録

平成 24 年第 1 回 津別町議会定例会会議録

招 集 日 平成 24 年 3 月 2 日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 平成 24 年 3 月 8 日 午前 10 時 00 分

延会日時 平成 24 年 3 月 8 日 午後 3 時 11 分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 篠 原 眞 稚 子

議員の応召、出席状況

議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況
1	乃 村 吉 春	○	○	6	白 馬 康 進	○	○
2	谷 川 忠 雄	○	○	7	藤 原 英 男	○	○
3	茂呂竹 裕 子	○	○	8	山 内 彬	○	○
4	村 田 政 義	○	○	9	篠 原 眞 稚 子	○	○
5	鳥 本 英 樹	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐藤 多一	○	監 査 委 員	幾世橋良三	○
農業委員会委員長			選挙管理委員会委員長		
教育委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	佐藤 正敏	○	教 育 長	阿部 博道	○
総 務 課 長	林 伸行	×	学校教育課長	房田 敏彦	○
総 務 課 主 幹	川口 昌志	×	学校給食センター主幹	成田 信雄	○
民営化準備室主幹	竹俣 信行	×	社会教育課主幹	伊藤 同	○
企画財政課長	斉藤 善己	○	農業委員会事務局長	深田 知明	×
企画財政課参事	石橋 吉伸	○	農業委員会事務局次長	小野寺祥裕	×
企画財政課主幹	横山 智	○	選 管 局 長	林 伸行	○
企画財政課主幹	齋藤 昭一	○	選 管 次 長	川口 昌志	○
住民生活課長	鈴木 悦郎	○	監査委員事務局長	長良 英俊	○
住民生活課主幹	伊藤 泰広	×			
保健福祉課長	鵜田 憲治	○			
保健福祉課主幹	山田 英孝	×			
保健福祉課主幹	石川 篤	×			
特 養 園 長	徳田 博一	○			
特 養 主 幹	清野 敏幸	○			
産 業 課 長	深田 知明	×			
産 業 課 主 幹	小野寺祥裕	×			
建 設 課 長	上野 安男	○			
建 設 課 主 幹	江草 智行	×			
会 計 管 理 者	酒井 操	○			
総務課庶務担当主査	松橋 正樹	×			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	長良 英俊	○	事 務 局 主 任	中橋 育美	○
事 務 局 主 査	小泉 政敏	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	1 番 乃村 吉春 2 番 谷川 忠雄
2	議案	1 8	平成 24 年度津別町一般会計予算について	
3	〃	1 9	平成 24 年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について	
4	〃	2 0	平成 24 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について	
5	〃	2 1	平成 24 年度津別町介護保険事業特別会計予算について	
6	〃	2 2	平成 24 年度津別町介護サービス事業特別会計予算について	
7	〃	2 3	平成 24 年度津別町下水道事業特別会計予算について	
8	〃	2 4	平成 24 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について	
9	〃	2 5	平成 24 年度津別町上水道事業特別会計予算について	
1 0	報告	1	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	
1 1	〃	2	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	
1 2	〃	3	例月出納検査の報告について（平成 23 年度 11 月分、12 月分、1 月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開会の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 118 条の規定により、議長において

1 番 乃 村 吉 春 君 2 番 谷 川 忠 雄 君

の両名を指名します。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 10 時 00 分

再開 午前 10 時 11 分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開いたします。

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、議案第 18 号 平成 24 年度津別町一般会計予算についてから、日程第 9、議案第 25 号 平成 24 年度津別町上水道事業会計予算についてまでの 8 件については、会議規則第 37 条の規定により一括議題にしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第 2、議案第 18 号 平成 24 年度津別町一般会計予算についてから、日程第 9、議案第 25 号 平成 24 年度津別町上水道事業会計予算についてまでの

8件を一括議題とすることに決定しました。

◎議案第18号

○議長（鹿中順一君） 日程第2、議案第18号 平成24年度津別町一般会計予算について説明を求めます。

企画財政課長。登壇の上説明をお願いします。

○企画財政課長（斉藤善己君）〔登壇〕 議長のお許しをいただきまして、この席より議案第18号 平成24年度津別町一般会計の予算の説明をさせていただきたいと思っております。

平成24年度の国の予算につきましては、昨年12月16日閣議決定され国会に提出されたところであり、本年、1月25日には総務省自治財政局財政課から現段階の平成24年度の地方財政の見通し、予算編成上の留意事項について事務連絡があったところであり、この留意事項に基づき予算編成にあたったところであり、

では、本町の平成24年の予算概要について、別冊の予算に関する資料から説明を行いたいと思っておりますので、お開きをいただきたいと思っております。

まず、1ページをお開きいただきたいと思っております。「国の平成24年度予算編成の基本方針」では、東日本大震災からの復興等、日本再生に全力で取り組み、あわせて地域主権改革を確実に推進するとともに既存予算の不断の見直しを行うとされ、「中期財政フレーム」（平成24年度～平成26年度）に基づき財政運営戦略の着実な実現を目指し、新規国債発行額及び基礎的財政収支対象経費は、平成23年度当初予算を上回らないものとしたところであり、その後、平成24年度地方財政対策が示され、地方財政計画の規模は平成23年度と同水準が確保されたところであり、また、地方交付税の総額は、国税5税の法定率分に別枠加算の維持や繰越金の活用等により17兆4,545億円（前年度比811億円、0.5%の増）が確保されたところであり、

このような中、本町の予算編成にあたっては、津別町中期財政計画を予算編成の指針として、平成24年度地方財政計画に基づき、歳入を慎重に見積もり、歳出においては、前年度同様ゼロベースから見直しを行いながら編成作業を進めたところ、一般会計予算の総額は46億4,800万円で、前年度と比較して3億100万円、6.1%の減とな

りました。この主な要因は、人件費、公債費及び前年度実施の特定公共賃貸住宅建設事業の減が上げられます。

では、1ページから2ページの歳入歳出の編成の特徴点について記述しているところであります。詳細については予算書で説明しますので、詳細な説明については省略させていただきますが、特に財政運営の視点で主な歳入歳出の特徴点について説明をします。

歳入の編成の特徴点であります。町税につきましては、固定資産税が評価替えにより減額となったものの、町民税の前年度実績額による推計により予算計上をしました。また、国の地方財政収支の見通しにおいては、平成24年度地方税制改正により増収を見込んでおります。

地方交付税は、1月に示された総務省自治財政局財政課留意事項に基づき算定し、交付税を見込むにあたっては、過大な見積もりを行うことのないよう積算し、予算計上をしました。

繰入金は、財政調整基金において、福田政権以降経済対策交付金等の自治体の財政運営の配慮もあって、地方財源が拡大された傾向にあり、当初予算ベースで基金に頼らない自治体が増えてきている状況で、本町においても一般寄附金の充当でとどまったことが上げられます。

特定目的基金につきましては、今後の事業量を勘案しながら積み立てを行ってまいりましたが、まちなか団地Ⅱ工区外構、特定公共賃貸住宅駐車場に係る公共施設等整備基金の増額については、補助対象外費用について基金繰入金により予算計上をしました。

町債につきましては、有利な地方債の借入に努めることを基本として津別町中期財政計画のプライマリーバランスを考慮して予算計上をしました。

次に、歳出の編成の特徴点であります。1点目は職員の人件費ですが、10名の定年退職、3名の新規採用者を見込み、給料で前年度比9.8%減、職員手当は前年度比10.0%減となっています。どの自治体においても職員適正化計画に沿って圧縮基調となっていますが、地方分権の推進及び住民ニーズの多様化に伴う業務量の拡大が進み、行政の役割として既存及び新規事業施策の推進において、どのように構築するか今後の課題であると考えます。

このため、賃金、委託料において、今日の行政課題に対処するため、定年退職職員の再雇用に係る予算計上をしました。この内容につきましては、賃金において防災計画見直し、町営バス民営化計画、学校現場における環境整備に係る事務補助。委託料において、第2役場としての津別町振興公社のあり方と、ますます増大する地域福祉に対応する津別町社会福祉協議会への退職者の派遣費用について予算計上をしました。

2点目は、償還金利子及び割引料におきまして、年々減少傾向の公債費償還の減は、一般財源確保といった視点でとらえると、人件費の減と同様に本町の財政運営にとって好ましい状況となっています。

3点目は、積立金の減債基金において、前年度に引き続き住宅債の償還据え置き期間における償還金相当額の積み立てを行うことにより、将来にわたる健全財政運営に努めるための予算計上をしました。

3ページ以降の資料につきましては、主なものを説明したいと思います。

4ページをお開きいただきたいと思います。財政状況の各種指数において、財政力指数は自主財源が乏しく依存財源に賄われていることが伺われる数値となっております。財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は、人件費、公債費の減少の要因があるものの普通交付税の減額がなかったことが上げられますが、普通交付税の動向によっては指標が大きく変化することが推測されます。また、実質公債費比率は12.4%と、今後においても徐々に減少傾向に進むと思われます。この比率は、今後の財政運営にあたっては現行の地方財政法における財政健全化の仕組みの基準を見据えた財政運営が必要と考えているところであります。

次に、飛んでいただきまして、51ページから52ページをお開きいただきたいと思います。このページの資料については、備荒資金組合の納付金の状況の資料となっておりますので、ごらんになっていただきたいと思います。

次に、53ページから55ページをお開きいただきたいと思います。11各基金の原資現在高及び基金充当先事業等の資料としているところです。本年度の主要な基金の取り崩しの状況は、前年度比70.5%の増としたところであります。

56ページから65ページをごらんになっていただきたいと思います。このページは人

件費の算定基礎、職員の定数及び実人数、職員の配置状況についての資料を記載しているところではありますが、62 ページの予算編成の実人数については、120 人で予算編成を行ったところでもあります。

次に、66 ページから 75 ページまでをごらんになっていただきたいと思います。負担金・補助金・交付金調を記載しております。75 ページの下段に区分集計を行っております。

次に、98 ページをお開きいただきたいと思います。一般会計における公債費年度別償還予定表を記載しているところですが、平成 24 年度末現在高、46 億 3,961 万 3,000 円、平成 26 年度末現在高につきましては、36 億 8,070 万 2,000 円となる予定としております。

それでは、予算書に基づきまして 42 ページ以降、前年度と比較した歳出の特徴的な点について説明をさせていただきます。

42 ページをお開きいただきたいと思います。お開きの款 1 議会費につきましては、前年度比 958 万 5,000 円の減額となっておりますが、この要因は 45 ページの議員報酬等の 4 節共済費において、地方議会議員年金制度廃止に伴う各地方公共団体の公費で負担する分と前年度議会運営経費で予算計上しました庁用備品購入費の減によるものであります。

次に、48 ページをお開きください。款 2 総務費、項 1 総務管理費、目 1 一般管理費につきましては、前年度比 5,606 万 2,000 円の減となっております。この要因は、人件費の減によるものですが、この目の予算編成の特徴点につきましては、51 ページをお開きください。総務管理経費は 53 ページをお開きください。7 節賃金において、津別町防災計画の見直しに係る退職者の再雇用賃金として予算計上し、55 ページをお開きください。13 節委託料の地域主権改革推進支援業務は、第 1 次、第 2 次の地域主権改革一括法による市町村の例規に影響する法律が 50 件から 80 件程度と想定されることから、例規整備の調査、対応例規整備案の支援など、専門業者に委託する費用として予算計上し、57 ページをお開きください。電算化推進経費の 18 節備品購入費は、59 ページをお開きください。上段に記載の帳票や選挙入場券裁断機器、フォームバスター、プリンタ等の O A 周辺機器更新として予算計上し、次の地域情報化経費は、61 ペ

ージをお開きください。15 節工事請負費は、施設に被害があった場合の即時処理費用として予算計上し、19 節負担金補助及び交付金は、本岐、相生共同受信組合に対する負担金として予算計上し、次の職員研修経費の 9 節旅費は、人材育成基本方針に基づき予算計上し、63 ページをお開きください。19 節負担金補助及び交付金において、現在条例等の制定一部改正については、「じょうれいくん」というシステムで操作、法務、実務、管理を行っているところですが、導入後において未受講の新規職員等を対象に研修会を開催するもので、この経費として予算計上をしました。

次に、62 ページをごらんください。目 2 広報費につきましては、前年度比 24 万 7,000 円の増となっておりますが、63 ページの広報活動経費の 7 節賃金は、国の緊急雇用創出推進事業を活用し予算計上し、次に 65 ページをお開きください。インターネット関連経費の 13 節委託料において、ホームページアップグレード分の費用として予算計上をいたしました。

次に、64 ページの目 3 財政管理費につきましては、前年度比 2,584 万 7,000 円の増となっておりますが、67 ページをお開きください。減債基金積立金においては、基金利息 7 万 9,000 円及び町営住宅等使用料の一部を平成 22 年、23 年度建設のまちなか団地建設事業及び平成 23 年度建設の特定公共賃貸住宅に係る起債償還分 2,446 万 1,000 円を積み立てることとし予算計上し、次の公共施設等整備基金積立金は、基金利子及び特定公共賃貸住宅使用料分として予算計上をしました。

次に、66 ページの目 5 財政管理費につきましては、前年度比 2,906 万 9,000 円の増となっておりますが、69 ページをお開きください。庁舎等維持管理経費は、庁舎に来庁する方の個別相談やワンストップサービス機能の充実と東側玄関先に多目的トイレを設置することにより町民の方の利便性を考慮し、主に 1 階の一部を増築及び改修費用として、71 ページをお開きください。13 節委託料において、改修工事实施設設計委託業務、15 節工事請負費は、庁舎改修工事の予算計上し、次の町有建物等維持管理経費は、73 ページをお開きください。13 節委託料の PCB 廃棄物処理業務は、公有財産等から排出された PCB 使用機器を法に基づき保管していたものを廃棄するための予算計上し、75 ページをお開きください。15 節工事請負費で職員住宅整備計画に基づき職員住宅内部改修工事 3 戸分の予算計上し、次の町有住宅維持管理経費は、77 ページをお開

きください。15 節工事請負費は、共和、上里カラマツ住宅 2 棟 7 戸の屋根、外壁塗装工事の予算計上をしました。

次に、78 ページをお開きください。項 2 地域振興費、目 1 町営バス運行費につきましては、前年度比 499 万円の減となっていますが、この主な要因は人件費の減によるものですが、この目の予算編成の特徴点は、79 ページの町営バス維持管理経費は、81 ページをお開きください。7 節賃金は、前年度に引き続き雇用するもの及び現在のバス乗務職員の定年退職者のあと補充並びに機動職員の定年退職に伴い、4 月にバス乗務員から機動職員に配置転換を予定し、町営バス民営化計画に基づく事務補助として定年退職職員の再雇用を見込み 4 名の予算計上をしました。なお、町営バスの運行については、町営バス民営化計画に基づき協議が整い次第、バス運行にかかわる補正予算をお願いするものであります。

次に、84 ページをお開きください。目 2 企画総務費につきましては、前年比 571 万 5,000 円の増となっていますが、85 ページの環境基本計画等策定業務は、平成 24 年度から 25 年度の 2 か年で環境基本条例及び環境基本計画策定のため、町民団体事業者から構成する環境基本計画等策定委員会を設置し、策定する経費として策定委員会報酬及び講演会、講座、ワークショップ、計画支援委託料として予算計上をしました。この財源につきましては、当初予算で一般財源を充当しておりますが、過疎債のソフト事業が適債事業に認められれば補正予算について検討することとしています。

次に、87 ページをお開きください。人づくり・まちづくり活動支援事業は、前年度実績により人づくり事業として国内研修 3 名、国外研修 3 団体の 14 名、まちづくり活動支援事業は 1 団体となっており前年度並みの予算計上をしました。

次に、88 ページをお開きください。目 3 企画開発費につきましては、前年度比 135 万円の減となっていますが、この目の予算編成の特徴点は、89 ページの森の健康館管理業務は、前年度比 210 万 3,000 円の増額となっていますが、91 ページをお開きください。15 節工事請負費において、網戸及び露天風呂外壁補修、18 節備品購入費は、食材保管のための冷凍庫購入の予算計上をし、19 節負担金補助及び交付金の町民入浴優待は、交付及び使用率の実績を勘案し減額して予算計上をし、95 ページをお開きください。森林セラピー事業の 7 節賃金は、緊急雇用創出推進事業を活用し、セラピーロ

ード発掘事業として臨時職員を雇用及び13節委託料において、新規設立しましたNPO法人森のこだまが実施する地域観光情報の発信及びガイド育成事業並びに森林セラピー基地誘導案内看板製作委託業務の予算計上をしました。

次に、94ページの目4企画振興費につきましては、前年度比325万円の増となっていますが、95ページのふるさと定住促進事業は、新規5戸分、中古2戸分を見込み予算計上し、99ページをお開きください。多目的活動センター整備事業は、センター施設の利便性を高めるための冷房設備工事の予算計上し、次の多目的活動センター管理運営経費は、7節賃金で2名の臨時職員を配置し、101ページをお開きください。13節委託料の情報発信システム再構築業務は、インフォメーションコーナー情報発信のシステムの拡充策として、まちづくり団体等が容易に操作できる構築費用として予算計上し、103ページをお開きください。18節備品購入費は、まちづくり運営協議会に貸与するソフトサーバーをはじめ、移動キッチンに使用するオーブンレンジ、ラジオ体操用の音響機器などの予算計上し、19節負担金補助及び交付金のまちづくりセンター運営協議会補助金は、前年度同様に七夕まつりなどのイベント運営費助成として予算計上をしました。

次に、112ページをお開きください。項5選挙費につきましては、前年度比226万5,000円の増となっていますが、目1選挙管理委員会費は、115ページをお開きください。選挙管理委員会経費の9節旅費は、任期中1回の全道研修会旅費の予算計上し、次の目2町議会議員選挙費では、任期満了となります町議会議員選挙費の経費について予算計上をしました。

次に、122ページをお開きください。款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費につきましては、前年度比506万3,000円の減となっていますが、この目の予算編成の特徴点は、125ページを開きください。殉公者追悼式経費は、127ページをお開きください。11節需用費の修繕料は、砲身砲弾機雷塗装の修繕の予算計上し、次の障がい者自立支援事業経費は、129ページをお開きください。20節扶助費の介護給付費・訓練等給付費は、自立支援給付対象者増として予算計上し、次の地域生活支援事業経費の13節委託料の日中一時支援事業委託は、利用者の人数増として予算計上し、19節負担金補助及び交付金の補助金は、131ページをお開きください。成年後見制度利用支

援事業の予算計上し、次の心身障がい者等扶助経費の重度障がい者タクシー券において、知的障がい者等の対象者を本年度も継続することとし予算計上し、次の重度心身障がい者医療費助成経費の 20 節扶助費は、前年度同様に乳幼児医療費助成対象者の年齢要件の拡大をすることとして予算計上し、133 ページをお開きください。社会福祉管理経費は、135 ページをお開きください。19 節負担金補助及び交付金の補助金として、住民生活に光をそそぐ交付金の基金事業を活用し、NPO 法人津別町手をつなぐ育成会に NPO 自立支援活動事業として予算計上し、次の国民健康保険事業特別会計繰出金は、保険基盤安定及び事務費繰入金の減として予算計上し、次の介護保険事業特別会計は、事務費繰入金の減として予算計上し、次の介護サービス事業特別会計繰出金は、介護浴槽及び居宅介護事業用車両購入等の増として予算計上をしました。

次に、134 ページの目 2 社会福祉施設費につきましては、前年度比 88 万 2,000 円の増となっておりますが、137 ページをお開きください。共和集会施設管理経費の 11 節需用費の修繕料は、カーペット、網戸等の修繕費用の予算計上し、139 ページをお開きください。15 節工事請負費では、女子トイレの 1 基を和式から洋式便器改修工事の予算計上をしました。

次に、140 ページをお開きください。目 5 老人福祉費につきましては、前年度比 65 万 3,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、141 ページの老人福祉施設管理経費は、143 ページをお開きください。13 節委託料において、豊永寿の家の庭木撤去等業務の予算計上し、18 節備品購入費は、各老人クラブから要望のあったテーブル等の備品購入について予算計上し、147 ページをお開きください。老人福祉扶助費等の 20 節扶助費の老人バス無料乗車券は、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者にも本年度も継続することとして予算計上し、151 ページをお開きください。福祉寮運営経費は、153 ページをお開きください。18 節備品購入費において、入居者用物置の更新費用として予算計上をしました。

次に、154 ページをお開きください。目 6 自治相談費につきましては、前年度比 185 万 7,000 円の増となっておりますが、155 ページの花のまち推進事業の 8 節報償費は、フラワーマスター認定講習会が本町で開催されることとなり講師謝礼、9 節旅費は、先進地視察の予算計上し、11 節需用費の消耗品は、五差路や庁舎等の公共施設に置くプ

ランター及び先ほど述べました講習会のテキストなど予算計上し、157 ページをお開きください。広域集会施設管理経費の 15 節の工事請負費は、達美地区農業集会施設の水洗化工事として予算計上をしました。

次に、160 ページをお開きください。目 7 交通安全推進費につきましては、前年度比 98 万 3,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、163 ページをお開きください。交通安全啓発指導経費は、165 ページをお開きください。19 節負担補助及び交付金の交付金において、新規に津別町交通指導員会に対し、パトライト作戦出動経費として予算計上をしました。

次に、164 ページの目 8 後期高齢者医療費につきましては、前年度比 367 万 4,000 円の増となっておりますが、165 ページの後期高齢者医療広域連合市町村業務経費は、広域連合に負担する療養給付費負担金として予算計上し、次の後期高齢者医療事業特別会計繰出金は、事務費繰入金が増として予算計上をしました。

次に、項 2 児童福祉費、目 1 児童福祉総務費につきましては、前年度比 1,542 万 7,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、165 ページの次世代育成支援対策協議会経費は、協議会開催 6 回分を見込み予算計上をし、167 ページをお開きください。ひとり親家庭等医療給付事業、乳幼児等医療費助成事業の 20 節扶助費の医療費は、前年度同様に中学生までの通院も対象の助成について予算計上し、169 ページをお開きください。子ども手当等扶助費は、国の通知どおり支給するものでありますが、3 歳未満の子ども及び 3 歳以上小学校終了前の第 3 子以降の子ども 1 人につき月額 1 万 5,000 円を、3 歳以上小学校終了前の第 1 子、第 2 子の子ども及び中学生分 1 人につき月額 1 万円を支給することとしています。

また、平成 24 年 6 月分の支給から所得制限 960 万円、夫婦子ども 2 人を基準とするを適用し、所得制限以上の者については、中学生終了まで 1 人につき 5,000 円を支給することとされております。

次の子育て支援事業経費は、171 ページをお開きください。7 節賃金において、勤務回数増の予算計上をし、8 節報償費は、子育て支援事業講演会開催に係る講師謝礼の予算計上をしました。

次に、170 ページの目 2 保育所費につきましては、前年度比 128 万 7,000 円の増とな

っておりますが、171 ページの保育所運営経費は、173 ページをお開きください。13 節委託料の保育所運營業務の保育所運営は、発達遅滞児童の特別支援保育児童に対応する運営及び臨時保育士の労働条件改善について増額として予算計上をしました。

次に、174 ページをお開きください。款 4 衛生費、項 1 保健衛生費、目 1 保健衛生費総務費につきましては、前年度比 1,107 万円の増となっておりますが、175 ページをお開きください。地域医療維持助成は、診療報酬改定に向け看護師確保に向けた 10 対 1 の配置基準に満たしていないことから津別病院からの要望を受け予算計上をし、177 ページをお開きください。保健衛生事務経費の 19 節負担金補助及び交付金のドクターヘリ事業負担金は、面積の広大な北海道において救命救急医療体制を推進するための負担金として予算計上をしました。

次に、178 ページをお開きください。目 2 予防費につきましては、前年度比 272 万 4,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、179 ページの健康増進事業の 13 節委託料は、前年度に引き続き、がん検診、生活習慣予防健診及び健康増進のための運動並びに本年度新たに 61 歳計画健診として胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立線がんを加え予算計上をし、次の母子保健推進事業の 8 節報償費は、小児科医乳幼児健診を予算計上し、181 ページをお開きください。13 節委託料は、前年度に引き続き妊婦健康診査等の予算計上し、下段の予防接種経費の 8 節報償費は、小児科医ポリオ健診を予算計上し、183 ページをお開きください。13 節委託料は、前年度に引き続き麻疹、風疹、混合ワクチン、インフルエンザ予防接種と子宮頸がん、ヒブ小児肺炎球菌ワクチン接種経費の予算計上し、下段の畜犬・蜂対策経費は、185 ページをお開きください。13 節委託料の有害虫駆除業務は、増加するスズメバチ駆除費用として予算計上をしました。

次に、184 ページの目 3 環境衛生費につきましては、前年度比 871 万 2,000 円の減となっておりますが、この主な要因は下水道・簡易水道事業特別会計繰出金の減額によるものですが、この目の予算編成の特徴点は、185 ページの共同墓地整備事業 15 節工事請負費の相生共同墓地通路整備工事の予算計上し、187 ページをお開きください。先ほど言いました下水道事業特別会計繰出金と簡易水道事業特別会計繰出金の減として予算を計上したところでございます。

次に、186 ページの目 4 保健師設置費につきましては、前年度比 12 万 1,000 円の減となっておりますが、この要因は、保健師の退職に伴う人材確保が本年度当初において補充できなかったことによるものですが、このため 189 ページをお開きください。保健師活動経費の 7 節賃金において、臨時保健師賃金の予算計上をしました。

次に、192 ページをお開きください。項 2 清掃費、目 1 塵芥処理費につきましては、前年度比 958 万 6,000 円の増となっておりますが、195 ページをお開きください。一般廃棄物最終処分場管理経費は、主にエゾシカ埋め立てにより管理経費にも影響が見込まれ 11 節需用費の消耗品においては、エスパス菌によるシカ対策資材の費用の増として予算計上し、197 ページをお開きください。13 節委託料においては、シカ埋め立てによる脱水機保守作業量による施設管理業務の増、エゾシカ処理業務として全部位の処分の化製場委託業務の予算計上をし、15 節工事請負費は、水処理等設備更新工事の予算計上をし、次の塵芥収集経費の 13 節委託料の塵芥収集業務は、燃料費タイヤの更新による増として予算計上し、次のごみ焼却施設管理経費は、199 ページをお開きください。19 節負担金補助及び交付金は、大空町への負担分として人口ごみ量及び施設公債費償還負担分として予算計上し、203 ページをお開きください。生ごみ処理経費の 13 節委託料は、生ごみ処理単価 1,000 円アップの 1 万 6,000 円の単価として予算計上し、次のごみ有料化経費の 11 節需用費の印刷製本費は、指定ごみ袋作製費用として予算計上をしました。

次に 212 ページをお開きください。款 6 農林業費、項 1 農業費、

○議長（鹿中順一君）　そこで、ちょっと休憩します。

暫時、休憩します。

休憩　午前　11 時 00 分

再開　午前　11 時 15 分

○議長（鹿中順一君）　休憩を閉じ再開します。

引き続き予算の説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（斉藤善己君）　〔登壇〕　引き続き提案の説明をさせていただきたいと思います。

212 ページ、款 6 農林業費、項 1 農業費、目 3 農業振興費につきましては、前年度比 3,027 万円の減となっておりますが、この主な要因は鳥獣被害防止対策事業の事業量の減によるものですが、この目の予算編成の特徴点は、213 ページ下段のその他農業振興対策経費は、215 ページをお開きください。7 節賃金は、農業費補助事務補助に係る 1 名分の臨時筆耕の予算計上をし、19 節負担金補助及び交付金は第 2 回産業まつり実行委員会及び 1 月に上里地区に法人化された「きらり」に対する補助として予算計上し、次の地域バイオマス利活用事業の 9 節旅費は、主に東京都港区とのみなと森と水ネットワークサミット会議出席旅費の予算計上し、217 ページをお開きください。鳥獣被害防止総合対策事業の 15 節工事請負費の鹿進入防止柵整備事業は、延長 20 キロメートルの予算計上をし、19 節負担金補助及び交付金は、主に鹿駆除対策補助として予算計上し、次の戸別所得補償制度推進事業の 19 節負担金補助及び交付金は、農地集積のための総合的対策として人・農地プラン推進事業の補助及び食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するための戸別所得補償制度推進事業として各協議会に対する補助金の予算計上し、次の環境保全型農業直接支払交付金事業は、地球環境のみならず、地域環境の保全向上に資する取り組みに対し協議会に補助する費用として予算計上をしました。

次に、216 ページの目 4 振興事業費につきましては、前年度比 64 万 6,000 円の減となっておりますが、217 ページの土地改良事業事務経費は、219 ページをお開きください。19 節負担金補助及び交付金の小規模土地改良事業は、前年度に引き続き農用地の排水不良地の暗渠排水事業を実施する者に対し補助することとして予算計上をしました。

次に、220 ページをお開きください。目 5 畜産業費につきましては、前年度比 184 万 9,000 円の減となっておりますが、この要因は、221 ページの町営牧野管理業務は、達美牧場の一部を有機酪農研究会に貸し付けしたことに伴い管理経費の減によるものであります。

次に、228 ページをお開きください。項 2 林業費、目 2 林業振興費につきましては、前年度比 235 万 9,000 円の増となっておりますが、229 ページの愛林のまち緑資源を守る

推進事業は、持続する森林資源を守るため丸玉産業森づくり基金から充当し予算計上し、次の未来につなぐ森づくり推進事業は、公益的機能の発揮に配慮し伐採を促すとともに、伐採後の確実な植林等に支援するための目的として北海道において創設され、市町村が事業費の一部を補助した場合に道が市町村に補助するもので、この費用について予算計上し、231 ページをお開きください。木質ペレットストーブ導入支援事業は、導入支援補助率を2分の1から3分の2に引き上げて、ペレットストーブの普及促進を図るため予算計上し、下段の森林認証事業は、地域産業の活性化と地域の振興のため緑の循環認証会議、S G E Cの森林認証を受ける経費として予算計上し、233 ページをお開きください。森林振興事務経費は、235 ページをお開きください。19 節負担金補助及び交付金のオホーツク森林産業振興協会は、前年度林業構造改善費の林構事業事務経費で予算計上したものを本年度からこの事業に予算計上し、239 ページをお開きください。21 世紀の森キャンプ場管理経費の15 節の工事請負費は、美園橋入口の町道から21 世紀の森入口までの通路街灯改修の予算計上し、241 ページをお開きください。丸玉産業森づくり基金積立金は、丸玉産業株式会社様からの寄附金 1,000 万円及び利息積立として予算計上をしました。

次に、240 ページの目3 林道費につきましては、前年度比 32 万 5,000 円の増となっておりますが、241 ページの林道維持管理経費の13 節委託料において、隔年で実施しております林道側溝整備業務の増によるものであります。

次に、242 ページをお開きください。目6 公有林費につきましては、前年度比 2,588 万 7,000 円の増となっておりますが、243 ページ、町有林整備事業は、245 ページをお開きください。12 節役務費の森林共済において、人工林保険面積の増として予算計上をし、13 節委託料は、町有林施業計画に基づき保育、間伐事業量の増として予算計上をしました。なお、本年度も季節労働者対策として枝打ち作業を実施することで予算計上をしております。247 ページをお開きください。基幹作業道開設事業は、林業専用道整備実施設計業務委託として、恩根地区の林道、延長 3 キロメートルとして予算計上をしました。

次に、248 ページをお開きください。款7 商工費、項1 商工費、目2 商工振興費につきましては、前年度比 303 万 4,000 円の増となっておりますが、251 ページをお開きくだ

さい。レストハウス管理経費は、253 ページをお開きください。15 節工事請負費で、冷房設備及び屋根塗装工事の予算計上をしました。

次に、252 ページの目 3 観光費につきましては、前年度比 139 万円の減となっています。この目の予算編成の特徴点は、255 ページをお開きください。峠展望施設管理経費は、257 ページをお開きください。15 節工事請負費は、ライブカメラ更新の予算計上をし、259 ページをお開きください。観光イベント補助費等の 19 節負担金補助及び交付金の北網地域活性化協議会は、平成 24 年度の観光協会各実行委員会への受託事業として前年度に引き続き東京恵比寿で開催の物産 P R 事業、各市町の夏祭り等のイベントを広域的に支援する北網地域 10 市町ふるさと活性化交流事業及び新規事業として販売型市町村ガイド「チビスロウ」発行事業として負担金の予算計上し、補助金の観光協会事業費は、夏まつり、クリンソウまつり、盆踊りに加え、観光協会 50 周年記念事業に対し、30 万円の助成をすることで予算計上をしました。

次に、264 ページをお開きください。款 8 土木費、項 2 道路橋梁費、目 1 道路橋梁総務費につきましては、前年度比 3,097 万 6,000 円の減となっていますが、前年度当初予算計上しました雪寒建設機械導入事業の減によるものですが、本年度においても除雪ドーザーの更新について要望していますが、この機械購入にあたって更新基準が厳しくなっており、補助採択となった場合直近の議会において補正予算をお願いするものであります。

次に、268 ページをお開きください。目 2 道路橋梁維持費につきましては、前年度比 34 万 7,000 円の増となっていますが、269 ページの道路橋梁維持整備事業は、271 ページをお開きください。新規に町道 223 号線横断管布設替工事の予算計上し、273 ページをお開きください。道路橋梁維持管理経費は、275 ページをお開きください。15 節工事請負費において、前年度に引き続き老朽街路灯改修工事の予算計上をしました。

次に、274 ページの目 3 道路橋梁新設改良費につきましては、前年度比 1,456 万 5,000 円の増となっていますが、町道整備事業の 13 節委託料において、町道整備測量設計業務として、町道 72 号線、189 号線、26 号線ほか 1 路線及び 277 ページをお開きください。上段の橋梁長寿命化修繕計画の予算計上し、15 節工事請負費は、町道 71 号線改良舗装工事ほか 4 工事について予算計上をしました。

次に、278 ページをお開きください。項4住宅費、目1住宅管理費につきましては、前年度比1,403万9,000円の増となっておりますが、281 ページをお開きください。町営住宅整備事業の15節の工事請負費は、前年度に引き続き豊永団地屋根・外壁張替改修工事の予算計上し、次の町営住宅管理経費は、283 ページをお開きください。15 節工事請負費において、シャレーイーストタウンの給湯ボイラー及び豊永団地熱交換機取替工事の予算計上をしました。

次に、284 ページをお開きください。目2住宅建設費につきましては、前年度比1億9,034万6,000円の減となっておりますが、この要因は前年度実施した特定公共賃貸住宅建設整備によるものですが、この目の予算編成の特徴点は、285 ページのまちなか団地建設整備事業の13節委託料は、旭町団地敷地測量業務、旭町団地買取事業建設調査のための活用調査業務、まちなか団地の建物表題登記の業務、旭町団地ボーリング調査として地耐力調査業務の予算計上し、15 節工事請負費は、町営、町有住宅の既存建物解体工事、まちなか団地Ⅱ工区の駐車場、通路等の外構工事の予算計上し、287 ページをお開きください。上段の17 節公有財産購入費において、Ⅱ工区買取事業の予算計上し、次の特定公共賃貸住宅建設整備事業は、新町、緑町第2 団地駐車場等の外構工事として予算計上をしました。

次に、款9消防費、項1消防費、目2災害対策費につきましては、前年度比316万1,000円の増となっておりますが、287 ページの防災会議経費は、防災計画見直しに係る会議開催経費の予算計上し、次の防災対策経費は、289 ページをお開きください。13 節委託料において、町民向けの防災計画ダイジェスト版作成業務委託の予算計上し、19 節負担金補助及び交付金の北海道総合行政情報ネットワーク更新整備負担金について予算計上をしました。

次に、290 ページをお開きください。款10教育費、項1教育総務費、目2事務局費につきましては、前年度比469万6,000円の増となっておりますが、293 ページをお開きください。下段の教育委員会事務局経費は、295 ページをお開きください。7 節賃金は、津別小6 学年、津別中1 学年に少人数学級の実施に係る臨時教員の採用各1 名について予算計上をするものですが、中学校分につきましては、緊急雇用創出推進事業で実施するものであります。

次の津別高校振興対策協議会は、297 ページをお開きください。上段の 19 節負担金補助及び交付金の交付金において、前年度までの協議会交付金に基礎学習等のための費用を拡充し予算計上をしました。

次に、296 ページの目 3 事務局振興費につきましては、前年度比 31 万 4,000 円の減となっていますが、この目の予算編成の特徴点は、義務教育振興事業経費の 19 節負担金補助及び交付金において、299 ページをお開きください。中体連・学校行事等のうち、前年度までの予算内容と新たに紅葉マラソン大会が津別中学校行事となりましたことから参加負担金の予算計上をしました。

次に、298 ページの目 4 語学指導助手招致事業費につきましては、前年度比 110 万 8,000 円の増となっていますが、現在の語学指導助手帰国に伴い 7 月から新語学助手の招致に係る経費の増が主な要因であります。

次に、300 ページをお開きください。項 2 小学校費、目 1 学校管理費につきましては、前年度比 717 万 6,000 円の増となっていますが、301 ページの小学校施設整備事業の 13 節委託料は、活汲小中学校の耐震工事管理業務、津別小学校耐震設計業務の予算計上し、15 節工事請負費は、活汲小中学校 LAN 配線工事、津別小学校一線校舎と体育館を結ぶ渡り廊下屋根葺替え及び 303 ページをお開きください。上段の網戸設置工事、活汲小学校校舎耐震、窓枠改修及び給食運搬路舗装工事並びに教員住宅 2 戸分の浴室改修工事の予算計上をし、次の小学校施設管理経費は、7 節賃金の臨時用務員において、定年退職者の再雇用の予算計上し、307 ページをお開きください。下段の 15 節の工事請負費は、309 ページをお開きください。上段の本岐・活汲小学校のブランコ遊具設置工事の予算計上し、18 節備品購入費は、津別小・活汲小の図書室用パソコンほか各学校の施設管理用備品と教材調度品として津別小学校の児童用机・椅子の更新、これについては最終年次の予算計上し、311 ページをお開きください。教務用消耗品備品等整備経費の 18 節の備品購入費は、津別小学校の教材展示装置ほかの教材調度品購入の予算計上をしました。

次に、310 ページの目 2 教育振興費につきましては、前年度比 19 万円の増となっていますが、311 ページの教材備品等購入経費は、313 ページをお開きください。上段の 18 節備品購入費は、各小学校の保健体育、音楽、家庭科特別支援教育の指定教材、理

科教材の予算計上し、下段のその他小学校教育振興経費は、8節報償費、11節需用費の文具・消耗器材において、前年度に引き続き木育授業と理科特別授業の専門講師費用などの予算計上し、315ページをお開きください。19節負担金補助及び交付金において、学校開基周年事業として、活汲小中学校開基100周年事業の予算計上をしました。

次に、314ページの項3中学校費、目1学校管理費につきましては、前年度比3,791万2,000円の増となっておりますが、315ページの中学校施設整備事業は、活汲中学校校舎及び体育館耐震工事の予算計上し、317ページをお開きください。中学校施設管理経費の7節賃金において、修学旅行等の身障生徒の付添時間数を40時間から80時間に増やし、緊急雇用創出推進事業を活用し、特別中学校の特学介助員雇用として予算計上し、11節需用費の修繕料は、津別中学校等の黒板張り替え、網戸、机、椅子の修繕の予算計上し、321ページをお開きください。15節の工事請負費は、結露が激しい津別中学校体育館換気工事の予算計上し、18節備品購入費は、津別中学校の津別中図書室用パソコン、音楽教材の湿気防止のため、音楽室、音楽準備室、エアコン各1台の設置等の予算計上し、323ページをお開きください。教務用消耗品・備品等整備経費、11節需用費の消耗品費の教務指導書は学習指導要領改訂分として予算計上をしました。

次に、324ページをお開きください。項3中学校費、目2教育振興費につきましては、前年度比71万2,000円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、327ページをお開きください。その他中学校教育振興経費は、前年度に引き続き木育授業実施のための費用と18節備品購入費は、テナーサックスなどの津別中吹奏楽部用楽器購入の予算計上をしました。

次に、328ページをお開きください。項4社会教育費、目1社会教育総務費につきましては、前年度比1,322万9,000円の減となっておりますが、この要因は、人件費の減によるものですが、この目の予算編成の特徴点は、333ページをお開きください。社会教育総務経費の15節の工事請負費は、消防法の改正に伴い本岐にあります郷土資料室の地下タンク廃止処理工事の予算計上をしました。

次に、334ページをお開きください。目2の社会教育振興費につきましては、前年度比235万9,000円の増となっておりますが、335ページの少年期振興経費の13節委託料

は、チミケップ湖カヌー体験委託業務として予算計上し、18 節備品購入費は、アソビバつべつ事業用の備品購入として予算計上し、19 節負担金補助及び交付金の船橋市・南アルプス市・青少年交流実行委員会に対する負担金は、今年度訪問年として予算計上し、337 ページをお開きください。青年期振興経費の 19 節負担金補助及び交付金の青少年海外研修事業は、3 名分の派遣として予算計上し、339 ページをお開きください。芸術文化振興経費の 19 節の負担金補助及び交付金の日フィルセミナー・コンサート事業は、文化面における交流人口拡大のため事業を実施しているところであります。近年入場料及びセミナー参加者の減少が見られ、基金等で収支を保ってきましたが、今後の運営を勘案して増額して予算計上し、中央公民館 30 周年記念事業は、中央公民館開館記念事業として、歌舞伎公演事業、映画制作の監督・女優招聘による上映事業、町民協賛事業として予算計上をしました。

次に、346 ページをお開きください。目 3 会館管理費につきましては、前年度比 1,256 万 5,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、347 ページの中央公民館施設整備事業の 15 節工事請負費は、4 月 1 日の機構改革に伴い事務室工事設計及び改修工事として予算計上し、次の公民館管理経費は、351 ページをお開きください。15 節工事請負費は、和式から洋式トイレに取換え 9 台、ウォシュレット 13 台のトイレ改修工事の予算計上し、次の生活改善センター管理経費は、353 ページをお開きください。15 節工事請負費は、消防法の改正により地下タンクの廃止処理工事の予算計上し、355 ページをお開きください。食品加工センター管理経費は、床の既存グレーチング部分修繕料として予算計上をしました。

次に、356 ページをお開きください。項 5 保健体育費、目 1 保健体育総務費につきましては、前年度比 69 万 8,000 円の減となっておりますが、この目の予算編成の特徴点は、363 ページをお開きください。社会体育事務経費は 9 節旅費において、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ会議旅費を予算計上しておりますが、このスポーツクラブは、地域住民の自主的な運営を目指すスポーツクラブで、平成 24 年度から 2 年間で日本体育協会から助成を受けて準備委員会を設置して調査検討を目指すこととしております。

次に、362 ページの目 2 体育施設費につきましては、前年度比 239 万円の増となって

いますが、363 ページの多目的運動公園整備事業の 15 節工事請負費は、サッカー・ラグビー場の A グランドのトラフ設置工事の予算計上をし、次の多目的運動公園管理経費は、365 ページをお開きください。18 節備品購入費はジュニア用のサッカーゴールの予算計上をし、367 ページをお開きください。温水プール管理経費の 11 節需用費の消耗品において、紫外線殺菌灯購入の予算計上をし、369 ページをお開きください。18 節備品購入費は、レーシングレーン購入の予算計上し、次の町民テニスコート管理経費は、371 ページをお開きください。15 節工事請負費は、テニスコート管理棟外部塗装工事の予算計上をし、次の運動広場管理経費の 13 節委託料の運動広場整備業務は、共和野球場の除草剤散布及び内外野境界整備業務の予算計上をし、373 ページをお開きください。上段の 18 節備品購入費は、屋外用両面時計の野球場の屋外用両面時計の購入の予算計上をし、下段の町民ゲートボール場管理経費は、375 ページをお開きください。上段の 18 節の備品購入費は、簡易水洗トイレの購入の予算計上し、381 ページをお開きください。体育施設共通管理経費は、383 ページをお開きください。15 節工事請負費は、スポーツ交流事業等を推進するため旧島崎跡内部改修工事の予算計上をし、18 節備品購入費は、テレビの購入等として予算計上し、385 ページをお開きください。トレーニングセンター管理経費の 13 節委託料の施設管理は、津別町振興公社に委託する火曜日から金曜日までの日直業務の予算計上し、387 ページをお開きください。18 節備品購入費は、トランポリン購入の予算計上をしました。

次に、390 ページをお開きください。目 4 学校給食費につきましては、前年度比 1,062 万円の減となっていますが、この目の予算編成の特徴点は、395 ページをお開きください。給食センター運営経費の 7 節賃金において、調理員パート分の予算計上し、臨時職員は学校給食費徴収事務取扱交付金廃止に伴い、収納業務臨時職員分の予算計上をし、給食センター調理員は、調理員 4 人分、再雇用 1 人分として予算計上をしました。

次に、398 ページをお開きください。款 12 公債費につきましては、前年度比 1 億 585 万 8,000 円の減となっていますが、400 ページをお開きください。項 1 公債費、目 1 元金において、主に通常の償還完了により 1 億 188 万 2,000 円の減となり、次の目 2 利子におきましても、これに連動して 397 万 6,000 円の減となるものであります。

次に、404 ページから 405 ページをお開きください。給与費明細書を記載していると

ころであります。今年度の給与費は、一般会計の教育長を含む一般職で見ますと、給料、職員手当で6,725万8,000円の減、共済費で1,274万7,000円の減、退職手当組合等負担金1,381万2,000円の減で、前年度比9,381万7,000円の減となっているところでもあります。

それでは、10ページの…

○議長（鹿中順一君） やめてください。

昼食休憩とします。

休憩 午前11時52分

再開 午後1時00分

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩を閉じ再開します。

休憩前に引き続き予算説明を求めます。

○企画財政課長（斉藤善己君）〔登壇〕では、引き続き提案説明を行います。

それでは、10ページの歳入にお戻りいただきたいと思います。款1町税、項1町民税、目1個人につきましては、前年度比1,895万1,000円の増となっていますが、個人現年課税均等割においては、前年度納税義務者実績数2,438人に減少率を乗じて2,389人と算定し、徴収率98.5%の705万9,000円の予算計上をしました。所得割においては、各層所得割の前年実績における算定を行う中で98.5%の徴収率を乗じて1億8,673万8,000円の予算計上をしました。なお、所得割の算定にあたっては、農業所得において5%の減、給与所得において減少なし、営業所得は1%の減として算定をしたところでもあります。

次に、目2法人につきましては、前年度比983万円の増となっていますが、現年課税分の均等割において法人見込み数を143社、前年度142社として1,431万6,000円、法人税割につきましては前年度実績ベースで算定し、2,341万4,000円として予算計上をしました。

次に、項2の固定資産税、目1固定資産税につきましては、前年度比1,954万2,000円の減となっていますが、固定資産評価替えにより現年課税分の土地については、税

額見込みを 3,772 万 2,000 円に徴収率 98.5%を乗じ 3,706 万 3,000 円を見込み、家屋につきましては、税額見込み 1 億 4,011 万 7,000 円に新築軽減を減額し、98.5%の徴収率を乗じて 1 億 3,698 万 9,000 円を見込み、償却資産につきましては、税額見込み 1 億 354 万 7,000 円に対して、98.5%の徴収率を乗じて 1 億 173 万 9,000 円として予算計上しました。

次に、目 2 の国有資産等所在市町村交付金につきましては、北海道森林管理局財務局北海道資産の森林・土地家屋の資産に基づいて 763 万 7,000 円として予算計上をしました。

次に、12 ページをお開きください。項 3 軽自動車税につきましては、前年度比 21 万 7,000 円の増となっておりますが、現年課税分の軽自動車台数の増を見込み 1,056 万 1,000 円の予算計上をしました。

次に、項 4 町たばこ税につきましては、前年度比 948 万 6,000 円の増となっておりますが、実績ベースの本数及び税率引き上げにより 2,711 万 3,000 円の予算計上をしました。

次に、項 5 の入湯税につきましては、前年度比 18 万円の増となっておりますが、宿泊 5,400 人、日帰り入浴客 1 万 9,800 人の見込みに対して 180 万円の予算計上をしました。

次に、款 2 地方譲与税、項 1 地方揮発油譲与税につきましては、総務省財政課の留意事項及び前年度決算見込み額を勘案し、2,400 万円として予算計上をしました。

次に、項 2 の自動車重量譲与税につきましては、総務省財政課の留意事項及び前年度決算見込み額を勘案し、5,900 万円として予算計上をしました。

次に、款 3 利子割交付金につきましては、前年度決算見込み 160 万 7,000 円の 75%を乗じ 120 万円として予算を計上しました。

次に、14 ページをお開きください。款 4 配当割交付金につきましては、決算見込み額 57 万 2,000 円ではありますが、この交付金の変動も考慮いたしまして 20 万円として予算を計上しました。

次に、款 5 株式等譲渡所得割交付金につきましては、前年度同額の 10 万円として予算計上いたしました。

次に、款 6 地方消費税交付金につきましては、前年度の決算見込み額 6,008 万円に

95%を乗じ、前年同額の5,700万円として予算を計上いたしました。

次に、款7自動車取得税交付金につきましては、総務省財政課の留意事項を勘案して1,400万円の予算を計上いたしました。

次に、款8地方特例交付金につきましては、前年度まで児童手当分及び子ども手当分並びに自動車取得税交付金の減収の一部を交付されていたところではありますが、平成24年度以降は、子どものための手当として児童手当法を改正する所要の法律案が通常国会に提出され、この制度改正に伴い年少扶養控除等の地方増収分が見込まれることにより整理イコール廃止され、自動車取得税に係る減収補填特例交付金は、平成24年度税制改正に伴い国費から地方増収分に振り替えるイコール廃止のため、前年度比1,020万円の減額となっています。本年度の当初予算計上は、住宅借入金等税額控除における個人住民税の減収分として70万円の予算計上をしました。

次に、款9地方交付税につきましては、本年度予算の歳入全体の57.6%を占める中核を成す財源であり、本町のように国から交付される財源で会計を賄っている自治体にとって交付税の算定にあたっては、平成24年度の地方財政対策の概要、総務省財政課の留意事項に基づき積算をしたところでもあります。そこで、平成24年度地方財政への対応の概要では、地方交付税の総額は前年度比0.5%増となっていますが、1月に示された総務省財政課の留意事項に基づいて、本町の減額要因を加味して基準財政需要額、基準財政収入額を算定し、普通交付税を算定したところでもあります。基準財政需要額は、個別算定経費において前年度比1.9%の減、地方再生対策費皆減、新たに地域経済雇用対策費が創設され、前年度の地域雇用創出推進費と比較すると87%の増となっております。公債費は、前年度比11.6%の減、包括算定経費は前年度比0.3%の減、臨時財政対策債振替相当額は前年度比14.7%の減を見込み、基準財政需要額は、32億6,400万程度、前年度比1.9%の減と見込みました。基準財政収入額は、前年度比0.8%増の5億9,700万程度と見込み、この差、交付基準額26億6,700万円程度と算定をしたところでもあります。しかしながら、交付税の決定が6月頃となることから、この交付基準額に96.6%を乗じて25億7,500万、前年度比8,900万3.3%の減として予算計上をしました。

特別交付税につきましては、地方交付税の算定方法の簡素化、透明化の取り組みの

一環として、交付税総額における特別交付税の割合を段階的に引き下げ、その部分を普通交付税に移行することとしていることや、特殊要因がない限り災害など他地域に回る可能性があることなどから、前年同額の1億円として予算計上をしました。

次に、16ページをお開きください。款10交通安全対策特別交付金につきましては、総務省の前概算要求を勘案して110万円として予算計上をしました。

次に、款11分担金及び負担金、項1分担金、目1農林業費分担金につきましては、鹿進入防止柵整備事業に対し受益者6%、農協3%の分担金として810万円の予算を計上いたしました。

項1負担金、目1民生費負担金は、前年度比355万4,000円の減となっておりますが、老人福祉施設入所者徴収金は、養護老人ホーム本人徴収分として5名、扶養義務者徴収金2名を見込み、へき地保育所保育料は70人を見込み予算を計上しました。次の目2、衛生費負担金は、大空町からの350トンの生ごみ処理負担金として610万円、償還負担分堆肥ふるい委託分に堆肥舎屋根補修分として373万2,000円として予算計上をいたしました。

次に、款12使用料及び手数料、項1使用料、目1総務使用料につきましては、前年度比894万円の減となっておりますが、町営バス使用料において実績ベースに基づいて開成線などの運賃収入の減によるものであります。

次に、18ページをお開きください。目4農林業使用料は、前年比286万9,000円の減となっておりますが、畜産使用料において、前年度達美牧場の一部を有機酪農研究会に貸し付けしたことが主な要因であります。

次に、目5土木使用料は、前年比1,069万9,000円の増となっておりますが、この要因は住宅使用料において、平成23年12月基準日の町営住宅237戸、特定公共賃貸住宅72戸、町営住宅駐車場43区画、特定公共賃貸住宅駐車場81区画の使用料の積算によるものであります。

次に、20ページをお開きください。目6教育使用料は、前年比81万円の減となっておりますが、これは前年実績に基づいて予算計上をしました。

次に、項2手数料、目1総務手数料につきましても、前年比12万9,000円の増となっておりますが、実績に基づいて予算を計上したことによります。

次に、目2衛生手数料は、前年度比207万円の増となっておりますが、特にし尿収集及びごみ手数料の増によるものであります。

次に、22ページをお開きください。款13国庫支出金、項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金につきましては、前年比1,798万4,000円の減となっておりますが、これは主に子ども手当の減額によるものであります。

次に、項2国庫補助金、目1総務費国庫補助金につきましては、前年度比200万円の減となっておりますが、この要因は、社会資本整備総合交付金の効果促進事業に係る前年度実施した町民の森自然公園案内看板等更新工事によるものです。なお、予算計上につきましては、ふるさと定住促進事業の新築5件分の予算計上としました。

次に、目2民生費国庫補助金は、前年度比145万9,000円の減となっております。この要因は、子ども手当システム改修が要因であります。本年度予算において前年度計上していましたが次世代育成支援交付金が廃止され、子育て支援交付金として予算計上をいたしました。

次に、24ページをお開きください。目3衛生費国庫補助金は、女性特有のがん検診推進事業として予算計上しました。

次に、目4農林業費国庫補助金は、社会資本整備総合交付金効果促進事業として、個人住宅に設置する木質ペレットストーブ導入支援事業に対し予算計上をしました。

次の目5商工費国庫補助金は、これも社会資本整備総合交付金の効果促進事業として、太陽光発電システム導入支援事業に対し予算計上をしました。

次の目6土木費国庫補助金は、前年度比1億1,427万5,000円の減となっておりますが、この要因は、前年度に当初予算計上しました雪寒建設機械及び特定公共賃貸住宅建設事業によるものですが、節1道路橋梁費国庫補助金は、雪寒指定路線除雪費補助として3分の2、高齢者等除雪サービス事業、橋梁長寿命化修繕計画に対する補助として10分の6.5として予算計上し、節2の住宅費国庫補助金は、まちなか団地Ⅱ工区買取事業、旭町団地測量ボーリング調査において、補助率100分の45、まちなか団地Ⅱ工区外構工事、通路・公園・緑地において補助率100分の45、補助対象分駐車場において補助率100分の50、豊永団地屋根・外壁張替工事、旭町団地建替に伴う移転補償、公的賃貸住宅家賃低廉化事業、旭町団地町営住宅建物除却分は100分の50として

予算を計上をしました。

次の目7教育費国庫補助金は、前年度比1,685万4,000円の増となっていますが、この要因は、活汲小中学校耐震化事業の補助率2分の1として予算計上をしました。

次に、26ページをお開きください。款14道支出金、項1道負担金、目1民生費道負担金につきましては、前年度比96万8,000円の減となっていますが、この要因は、人工透析分等の更生医療給付費の減によるものであります。

次の目2保険基盤安定拠出金は、前年度比363万7,000円の増となっていますが、後期高齢者医療保険料、保険基盤安定拠出金に対する拠出率を乗じて予算計上をいたしました。

次に、項2道補助金、目1総務費道補助金につきましては、前年度比241万8,000円の減となっているところですが、これは前年度の地域づくり総合交付金の減によるものですが、本年度の電源立地地域対策交付金の対象事業は、消防費の津別消防広報車等の備品購入を対象事業とするものであります。この交付金については、予算編成時において原子力発電所の取り巻く状況から勘案し予算計上しましたが、予算編成後の情報によりますと前年度同額程度と情報がありましたので、確定次第補正をお願いするものであります。

次に、項2道補助金、目2民生費道補助金につきましては、前年度比15万3,000円の増となっているところですが、29ページをお開きください。上段の子ども手当システム改修費は、名称変更及び所得制限対応のため予算計上をしました。

次に、29ページの目3衛生費道補助金につきましては、前年度比158万5,000円の減となっているところですが、子宮頸がんワクチン接種事業の予防対象者数の精査が主な要因であります。

次に、28ページの目4労働費道補助金につきましては、前年度比1,175万1,000円の減額となっていますが、緊急雇用創出推進事業で実施する教育委員会事業の少人数学級、特別支援学級サポート事業、町広報、森林セラピーに係る臨時職員の雇用並びにNPO法人に委託する地域観光情報の発信及びガイド育成事業分として予算計上をいたしました。

次の目5農林業費道補助金につきましては、前年度比1,415万9,000円の増となっ

ていますが、1節農業費道補助金は、鳥獣被害防止総合対策事業に係る鹿進入防止柵設置工事、戸別所得補償制度推進事業及び環境保全型農業直接支払交付金事業として予算計上し、3節林業費道補助金の未来につなぐ森づくり推進事業は、事業費に対して北海道補助分26分の16として予算計上し、森林環境保全整備事業は、造林、下刈り、間伐、鳥獣被害に対して予算計上し、森林整備加速化・林業再生事業は、基幹作業道開設事業の設計業務及び町有林トドマツ、天然林間伐に対する補助として予算計上をしました。

次に、30ページをお開きください。目6教育費道補助金は、前年度比309万6,000円の減となっておりますが、これは放課後子どもプラン推進事業の減及び理科教育教材の購入計画が交付基準に満たしていないことによるものであります。

次の款15財産収入、項1財産運用収入、目1財産貸付収入につきましては、前年度比240万5,000円の増となっておりますが、土地貸付料は、団体・個人貸付37件、建物貸付料は、職員等住宅貸付42戸として予算計上をしました。

次に、32ページをお開きください。目2利子及び配当金につきましては、前年度比8万円の減となっておりますが、利率を勘案し各基金の利息の収入として予算計上をしました。

次に、項2財産売払収入、目1生産品売払収入につきましては、前年度比158万8,000円の減となっておりますが、町有林施業計画に基づき間伐、皆伐、売払収入として予算計上をしました。

次の目2動産売払収入は、前年度比3万円の減となっておりますが、国内クレジット売払収入として予算を計上しました。

次の款16寄附金は、農林業寄附金につきましては、本年度においても丸玉産業株式会社様からの寄附金を予算計上しました。

次に、34ページをお開きください。款17繰入金、項1基金繰入金につきましては、前年比4,825万5,000円の増となっておりますが、財政調整基金繰入金は、前年度北所鉄工所様からの一般寄附金を消防費に100万円を充当し、公共施設等整備基金繰入金は、特定公共賃貸住宅外構工事一般財源分2,138万3,000円、まちなか団地Ⅱ工区外構工事一般財源分3,375万2,000円の5,513万5,000円を充当し、代替輸送確保対策

事業基金繰入金は、相生線運賃収入から相生線支出経費を差し引いた不足分として 3,174 万 1,000 円を充当し、地域振興基金繰入金は、ふるさと定住促進事業 435 万円、人づくり・まちづくり活動支援事業 403 万 6,000 円、青少年海外研修事業 235 万円の 1,073 万 6,000 円を充当し、福祉基金繰入金は要援護高齢者支援事業 175 万 2,000 円、敬老に係る経費 59 万 4,000 円、介護サービス支援事業 8 万 5,000 円、老人福祉扶助費等 58 万 9,000 円、子宮頸がん等ワクチン接種事業 159 万 2,000 円、NPO 法人自立活動支援事業 146 万円、デイサービス介護浴槽更新に土田、大松様からの指定寄附金を活用し 110 万円の 717 万 2,000 円を充当し、丸玉産業森づくり基金繰入金は、愛林のまち緑資源を守る推進事業に 1,046 万 5,000 円を充当し、ふるさとつべつ応援基金繰入金は、デイサービス介護浴槽更新にふるさと納税福祉指定分を活用し 35 万円として予算計上しました。

次に、款 19 諸収入につきましては、前年度比 749 万円の減となっておりますが、この主な要因は、給食事業収入及び前年度実施した自治総合センター助成事業のシンポジウム助成事業とその他雑入において、堆肥製造施設屋根改修工事の J A 負担分が要因であります。

次に、40 ページをお開きください。款 20 町債につきましては、前年度比 1 億 2,740 万円の減となっておりますが、目 1 総務債は前年度比 1,640 万円の増となっておりますが、臨時財政対策債の発行可能額は、財政力に弱い地方公共団体に配慮し、財源調整機能を強化する観点から今後 3 年間で段階的に各団体の人口基礎として算定する方式を廃止し、各団体の財源不足額を基礎として算定する方式に移行するとしています。よって、総務省財政課の留意事項を勘案して前年度比 8.4% の増として予算を計上し、次の総合行政ネットワーク更新事業は、市町村負担金を過疎債として充当をするものであります。

次の目 2 衛生債は、前年度比 1,800 万円の増となっておりますが、津別病院に助成する地域医療維持助成事業に過疎対策事業債、ソフト事業を充当することで予算を計上しましたが、事業費 7,000 万円の残りの財源は、特別交付税を見込んで予算を計上しております。

次の目 3 土木債は、前年度比 1 億 2,890 万円の減となっておりますが、前年度当初予

算計上しました雪寒建設機械の導入事業及び特公賃の住宅の建設事業が要因であります。今年度は、まちなか団地Ⅱ工区買取事業及び通路・公園・緑地の外構工事並びに旭町団地敷地測量、ボーリング調査、建物取り壊し費用として予算計上をしました。

次の目4教育債は、前年度3,290万円の減となっておりますが、前年度実施した中央公民館、トレセンの屋上防水工事によるものであります。今年度は、活汲小中学校耐震改修事業について過疎債を充当することで予算を計上しました。

以上で歳入の説明とさせていただきます。

1ページにお戻りいただきたいと思っております。第1条第2項第1表歳入歳出予算につきましては、ただ今説明してまいりました歳入歳出の予算につきましては、それぞれ款項区分を整理し、予算総額を46億4,800万円とするものであります。

第2条第2表債務負担行為につきましては、6ページをお開きください。津別町農業生産法人経営推進事業として期間限度額を定めるものであります。

第3条第3表地方債につきましては、起債の目的欄に掲載し、限度額3億5,530万円と定めて計画をするものであります。

1ページにお戻りください。第4条一時借入金につきましては、借入最高額を10億円とするものであります。

第5条、歳出予算の流用につきましては、各項の流用を定めたもので、給料、職員手当、共済費につきましては、予算が不足した場合、同一の款内でのみ流用できるものとしたものであります。

以上、一般会計の内容をご説明申し上げましたので、ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

◎議案第19号～議案第21号

○議長（鹿中順一君） 続いて、日程第3、議案第19号 平成24年度津別町国民健康保険事業特別会計予算についてから日程第5、議案第21号 平成24年度津別町介護保険事業特別会計予算についてまでの3件について順次説明を求めます。

保健福祉課長。登壇の上説明願います。

○保健福祉課長（鴫田憲治君） [登壇] ただいま議長より発言のお許しをいただ

きましたので、保健福祉課が所管する3保険事業特別会計の平成24年度の予算編成について順次ご説明申し上げます。

最初に、議案第19号 平成24年度津別町国民健康保険事業特別会計予算につきましてご説明申し上げます。平成24年度の予算編成にあたりましては、国の予算方針、町の国保事業計画などに基づいて行ったところではありますが、今日までの制度改革や国保関係者の努力にもかかわらず、国保制度が抱える脆弱な財政基盤という構造問題は一層深刻さを増しています。そのような中で平成24年度以降の制度改革につきましては、保険税の関係では医療分、後期高齢者支援分及び介護納付金分の限度額は据え置かれることになり、70歳から75歳未満の自己負担凍結措置が継続されることになりましたので、これら内容を含みながら予算編成を行ったところでもあります。

また、本町の国民健康保険事業においては、被保険者の37%が前期高齢者であり、保険税の軽減の対象も40%を超える中で、税負担の低下や医療費への増加へつながる状況も予測され、前期高齢者交付金等により保険者間の負担調整が行われるものの、農業、商業を取り巻く情勢は依然として厳しく、中長期的に見ましてもさらに厳しい財政運営が続くものと予想されますが、本年度も財政健全化や医療費適正化、保険税収納率の向上、適用の適正化や生活習慣病予防などの対策に取り組むなどを重点事項としながら、国民健康保険事業の安定的な運営の確保と健全財政の維持を図ってまいります。

なお、保険税率につきましては、例年、所得の確定いたします5月に必要額の確保などを含め国保運営協議会に諮問し、答申をいただきながらその内容をもって条例改正案として5月議会にお諮りをする事としておりますので、本年におきましても例年に倣い当初予算につきましては、平成23年度の税率により計上させていただき、基金からの繰入金で調整をいたしておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

予算編成にあたり、基礎となる世帯数と被保険者数等ではありますが、世帯数を994世帯、被保険者数を1,908人、うち一般を1,775人、退職を133人とし、保険給付費につきましては、ここ2年間の医療費の実績等を勘案し、一般、退職合わせて前年比1.5%増の6億3,155万6,000円と推計をいたしております。

以上の考え方に基づきながら本年の歳入歳出予算の総額につきましては、第1条に

おきまして9億810万円と定めたところであり、前年度当初予算と比較しますと金額で1,170万円、率で1.27%の減となっております。

それでは、主な内容につきまして、歳出から説明を申し上げます。

430ページをお開きください。430ページから437ページ上段までは、款1総務費であります。減の主な要因は、人事異動による職員配置に伴う給与費の減であり、総務一般事務経費、項2徴税費、項3運営協議会費、項4趣旨普及費につきましては、おおむね前年と同様の予算編成となっております。

次に、436ページから438ページ上段までは、款2保険給付費であります。いずれもこれまでの実績等を勘案いたしまして、先ほど申しましたとおり総額で6億3,155万6,000円で、前年比968万8,000円の減の予算計上であります。

内訳であります。項1療養諸費、目1一般被保険者療養給付費につきましては、1人当たりの医療費を昨年とほぼ同額の28万3,235円と設定し、1,775人で5億274万4,000円と積算して、当初前年比882万4,000円、1.7%減の予算計上となっております。

目2退職被保険者等療養給付費等から目4退職被保険者等療養費につきましては、同様に1人当たりの医療費を算定し人数分で積算して、それぞれ予算計上しております。

続きまして、438ページ、項2高額療養費、目1一般被保険者高額療養費につきましては、1人当たりの医療費を3万540円に設定し、1,775人で5,421万円と積算し、当初前年比125万9,000円減で前年とほぼ同額の予算計上であります。

同じく、目2退職被保険者等高額療養費につきましても、実績を勘案しながら1人当たりの医療費を8万9,459円と設定し、133人で1,189万9,000円の予算計上であります。高額介護合算療養費につきましては、実績を勘案しながら一般分で50万5,000円、退職分で11万9,000円の予算計上であります。

440ページ、項4出産育児諸費、目1出産育児一時金の出産一時金につきましては、42万円で10人を想定しまして、前年同様の420万の予算計上であります。

442ページにかけての項5葬祭諸費、目1葬祭費につきましては、葬祭費としまして

3万円の20人分で60万円の予算計上であります。

続きまして、款3、項1、目1後期高齢者支援金につきましては、後期高齢者医療制度への財政負担としてルールに基づきまして9,047万2,000円で、当初前年比58万円減の予算計上であります。

続きまして、款4、項1、目1前期高齢者納付金につきましては、負担調整見込みといたしまして、概算で被保険者2,080人としまして26万1,000円の予算計上であります。

444ページになりますが、款5、項1老人保健拠出金、目1事務費拠出金につきましては、事務処理の負担分としまして事務費拠出金のみの6,000円の予算計上であります。

続きまして、款6、項1、目1介護納付金におきましては、介護保険の2号被保険者にあたります40歳から65歳までの介護納付金といたしまして、示されておりますルールに基づきまして3,121万4,000円の予算計上であります。

款7、項1共同事業拠出金、目1高額医療費拠出金の高額医療費共同事業医療費拠出金につきましては、1件80万以上の高額療養費に対し、これまでの実績により国保連から示されました2,113万9,000円の予算計上であります。

446ページのみ3保険財政共同安定化拠出金につきましては、1件30万から80万円未満の医療費を対象とするものでありますが、これまでの実績により国保連から示されました8,120万6,000円の予算計上であります。

続きまして、448ページにかけましての款8保険事業費、項1、目1特定健康診査等事業費につきましては、平成20年度より始まりました特定健診及び特定保健指導に係る経費であります。いずれも目標数値を達成できるよう事業を実施してまいりますが、新年度は特に臨時栄養士や健診経費を拡充したことにより予算としては前年比65%増の790万7,000円の予算計上であります。

項2保健事業費、目1保健衛生普及費の健康づくり事業経費につきましては、例年啓蒙用パンフレットや健康手帳の経費などの消耗品を主なものとして予算計上していますが、新年度は先ほどの臨時栄養士の予算と新たに北海道国保連の事業としての小規模保険者支援事業において保健師派遣のための負担金を計上しましたので、前年を

大幅に上回る 164 万 3,000 円の予算計上であります。

450 ページですが、同じく各種検診助成事業につきましては、がん検診やインフルエンザ予防接種への助成経費として 102 万 3,000 円の予算計上であります。

次に、款 9 基金積立金につきましては、国民健康保険基金の積立利息分の計上であります。

450 ページの款 10 公債費につきましては、一時借入基金利息として、例年と同額の計上であります。款 11 諸支出金、項 1 償還金及び還付加算金の目 1 一般被保険者保険税還付金から 452 ページまでの目 5 退職被保険者等還付加算金につきましては、それぞれ例年同様の考え方の予算計上であります。

款 12 予備費につきましても、例年と同額の 200 万の予算計上であります。

次に、歳入をご説明いたしますので 420 ページをお開き願います。款 1、項 1 国民健康保険税、目 1 一般被保険者国民健康保険税の医療給付分につきましては、被保険者数を 1,775 人と設定いたしまして、税率等につきましては、先に申し上げましたように例年 5 月臨時会での改正をお願いしているところから、現行の数値に基づくとともに限度額を据え置くとしまして、1 人当たりの保険税額を 6 万 3,893 円と算定し、このところの実績から徴収率を 98.0%と見まして、医療給付費につきましては 1 億 1,114 万 1,000 円となり、そのうち特別徴収分を 10%、普通徴収分を 90%といたしまして、医療給付費分現年課税特別徴収分として 1,114 万 4,000 円、普通徴収分として 1 億 2 万 7,000 円とそれぞれ予算計上いたしております。

後期高齢者支援金分の課税額につきましても医療給付分と同様の考え方で、1 人当たりの保険税額を 1 万 6,331 円と設定し、被保険者数 1,775 人で徴収率を 98.0%として特別徴収分と普通徴収分、合わせて 2,840 万 6,000 円の予算計上であります。

介護納付金分も同様の考え方から、1 人当たり 2 万 6,457 円で、対象者数を 555 人と積算しまして、収納率を 98%とした算定で 1,441 万 5,000 円の予算計上であります。滞納繰越分につきましては、収納率等を勘案しながら合わせまして 202 万 6,000 円の予算計上であります。

次に、目 2 退職者被保険者等国民健康保険税につきましては、次のページにかけまして各節とも一般被保険者と同様の考え方で積算をしておりますが、医療給付分につき

ましては、1人当たり調定額を4万8,276円といたしまして、133人で98%の徴収率で前年とほぼ同額の629万2,000円とするなど、合わせまして954万6,000円の予算計上であります。

款1国民健康保険税といたしましては、合わせまして前年比0.2%増の1億6,553万4,000円の予算計上であります。

次に、422ページの款2国庫支出金であります。項1国庫負担金、目1療養給付費等負担金につきましては、医療給付などに要する費用などに対する100分の32の国からの負担金でありまして過年度分と合わせまして前年比1.2%減の1億4,453万3,000円の予算計上であります。なお、本年度より率につきましては100分の34から100分の32に引き下げられております。

同じく、目2高額医療費共同事業負担金につきましては、1件80万円を超える高額医療拠出金に対する国の4分の1の負担金でありまして、前年比6.7%減の528万4,000円の予算計上であります。目3特定健康診査等負担金につきましては、特定健康診査並びに特定保健指導の経費に対する負担金でありまして、基本額に対する3分の1の助成で、当初前年比で50%増の146万円の予算計上であります。

続きまして、項2国庫補助金であります。目1財政調整交付金の普通調整交付金につきましては、市町村間における財政力の不均衡を調整するための制度に基づいて交付されるものですが、医療分、介護納付金分、後期高齢者支援金分の合計額の9%として前年比8.4%減の2,911万8,000円の予算計上であります。

次に、款3、項1、目1療養給付費交付金につきましては、退職被保険者の医療等に要する費用に対して社会保険診療報酬支払基金から交付されるもので、医療分として5,644万5,000円、後期高齢者支援分として444万1,000円の予算計上であります。

次に、424ページの款4前期高齢者交付金、項1、目1前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者に係る医療費につきましては、保険者間で不均衡が生じていることから、その調整のために設けられた交付金でありまして、前年比4.3%減の2億2,619万4,000円の予算計上であります。

次に、款5道支出金であります。項1道負担金、目1高額医療費共同負担金につきましては、国庫支出金と同様で80万以上の高額医療拠出金に対する道の4分の1の

負担金でありまして、前年比 6.7%減の 528 万 4,000 円の予算計上であります。

同じく、目 2 特定健康診査等負担金につきましては、国庫支出金と同様の考え方で、前年比 50%増の 146 万円の予算計上であります。項 2 道補助金、目 1 財政調整交付金につきましては、国からの調整交付金と同じく市町村間における財政力の不均衡調整を目的としまして、医療費分、介護納付金分、後期高齢者支援金分に対する 9%分の交付がありますので、前年比 13.4%増で 2,713 万 7,000 円の予算計上であります。なお、率につきましては、平成 24 年度より 7%から 9%に引き上げられています。

次に、款 6 連合会支出金、項 1 共同事業交付金、目 1 高額医療費共同事業交付金につきましては、1 件 80 万以上の高額医療費拠出金に対する交付金として連合会から交付されますことから、前年比 7.1%減の 1,944 万 6,000 円の予算計上であります。

同じく、目 2 保険財政共同安定化交付金につきましては、1 件 30 万から 80 万円の高額医療費に対する交付金としまして、前年比 4.3%減の 7,876 万 9,000 円の予算計上であります。

次に、款 7 財産収入、項 1 財産運用収入、目 1 利子及び配当金につきましては、国保安定化基金に係る利息分で 4 万 3,000 円の予算計上であります。

次に、款 8 繰入金であります。項 1 他会計繰入金、目 1 一般会計繰入金の保険基盤安定繰入金につきましては、低所得者に対する 7 割、5 割、2 割の軽減額に対する国及び道の補助金に町の負担分を合わせまして前年とほぼ同額の 2,681 万 9,000 円の予算計上であります。

同じく 426 ページのその他の一般会計繰入金につきましては、人件費事務費としまして 3,905 万円、出産育児分で 278 万円、国保財政安定化分で 631 万 3,000 円の、合わせて前年比 9.2%減の 4,818 万 3,000 円の予算計上であります。

項 2 基金繰入金、目 1 国庫基金繰入金につきましては、安定的な国保会計の運営のためにも基金については一定の水準を確保できるように、できるだけ繰入の方法に頼らない考えを持っていますが、先にご説明いたしましたとおり保険税の所得の確定に伴う税率等の見直しなどを含め、歳入の不足分を基金で調整することとして 6,712 万円の予算計上であります。

款 9 繰越金、428 ページにかけての款 10 諸収入につきましては、前年と同様の考え

方での科目設定及び予算計上であります。

なお、本予算編成内容につきましては、2月28日開催の国保運営協議会におきまして審議され、答申をいただいているところであります。

それでは、前に戻っていただきまして、第1条の2項におきましては、歳入歳出予算の款項の区分及び金額につきましては、次のページの第1表のとおりとしたものであります。

第2条につきましては、一時借入基金の最高限度額を4,000万円とするものであります。

第3条につきましては、歳入歳出予算の流用について定めたものであります。

以上、平成24年度の国民健康保険事業特別会計の予算編成のご説明を申し上げましたので、ご審議方よろしくお願いたします。

続きまして、議案第20号 平成24年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算についてご説明申し上げます。平成20年4月に75歳以上の高齢者等を対象とする新たな医療保険制度として創設されました後期高齢者医療保険制度につきましては、国より制度廃止の方向が出されているものの、明確な方向が打ち出されぬまま今日に至っていますが、平成24年度の予算編成にあたりましては運営主体であります北海道後期高齢者医療広域連合会の運営方針等に基づきながら行ったところではありますが、保険料の徴収等の窓口業務など、連合会と連携しながら適切な業務運営を図ってまいりたいと存じます。なお、本年は2年ごとの保険料率等の見直しの年ということでもありますので、算定にあたりましては、その部分も加えられた内容での計上となっております。

本年の歳入歳出予算の総額につきましては、第1条におきまして8,710万円と定められたところであり、前年当初予算と比較しますと金額で1,140万円、率で15%の増となっております。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げますので468ページをお開きください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費の総務一般事務経費につきましては、広域連合市町村連絡会議の旅費などを主なものとする事務経費として8万円の予算計上であります。

項 2、目 1 徴収費の後期高齢者医療保険料徴収業務につきましては、賦課決定通知書や納付書などの諸用紙や消耗品を主なものとする徴収業務に係る経費としまして 34 万 8,000 円の予算計上であります。

次に、470 ページの款 2、項 1、目 1 の後期高齢者医療広域連合納付金であります。前年当初比 6.2%、498 万円減の 7,479 万円の予算計上であります。うち、事務費につきましては、広域連合に対します事務負担金であります。全事業経費に対しまして均等割、高齢者人口割としまして、合わせて 371 万 9,000 円の予算計上であります。

保険料等負担金につきましては、後期高齢者保険料の 5,417 万 8,000 円と保険基盤安定分の 2,830 万円などを合わせまして 8,248 万円の予算計上であります。

保険料であります。先に申しましたとおり本年は 2 年ごとの保険料率等の見直しの年にあたりますことから、連合会におきまして、このところの医療費の実績を勘案しながら、平成 24 年、25 年の医療給付費の推計を行い、拠出金や他の事業費などを合わせまして費用の見込みを行い、国庫や道負担金、調整交付金や市町村負担金、後期高齢者交付金などの収入などを差し引き、さらに引き上げ幅を抑制するため広域連合の余剰金の繰り入れなどを行い保険料収納必要額が算出されたところであります。これまでの軽減措置につきましては今後も継続されることとなりましたが、依然医療費の伸びが続いていることから、均等割については 4 万 7,709 円で、23 年当初と比較しまして額で 3,517 円、率で 7.96%の増、所得割では 10.67%で 23 年当初と比較しまして 0.33%の伸び、軽減後の 1 人当たりの保険料は 4 万 1,228 円で、2,892 円の増となります。

なお、保険料の積算にあたりましては、改定後の税率等で計上しておりまして、本町につきましては、被保険者を 1,283 人と設定し、保険料徴収額を 5,417 万 8,000 円と見込んでおります。また、保険基盤安定分につきましては、低所得者に対します軽減措置として制度化されたものであります。全体の 75%の 965 人を対象として 2,822 万 9,000 円を負担するものですが、うち 4 分の 3 を道が負担し、4 分の 1 を町が負担する内容となっております。

次に、款 3 諸支出金、項 1 償還金及び還付加算金、目 1 保険料還付金及び目 2 還付加算金につきましては、それぞれ 10 万円と 5,000 円の予算計上であります。

項2繰出金、目1一般会計繰出金につきましては、連合会よりの高齢者医療制度円滑化運営臨時特例交付金を広報経費に充当するものとして5万8,000円の予算計上であります。

款4、項1、目1旅費につきましては、前年同様30万円の予算計上であります。

続きまして、歳入についてご説明申し上げますので464ページ、465ページをお開きください。款1、項1後期高齢者医療保険料につきましては、歳出でご説明申し上げましたとおりでありまして、目1特別徴収保険料につきましては、現年度保険料徴収予定額5,417万8,000円に対しまして、対象者を55%と見込みまして2,979万5,000円の予算計上であります。目2普通徴収保険料につきましては、現年度分ということで対象者を45%と見込みまして2,437万8,000円、滞納繰越分では、5,000円の予算計上であります。

款2、項1広域連合支出金、目1高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金につきましては、制度の円滑な運営のための広報等の経費に対しまして、広域連合から交付されるもので5万8,000円の予算計上であります。

次に、款3繰入金、項1一般会計繰入金につきましては、目1事務費繰入金としまして、広域連合への事務負担金分として371万9,000円、一般事務費としまして83万7,000円の、合わせまして445万6,000円の予算計上であります。

目2保険基盤安定繰入金につきましては、軽減分に対するものでありますが、一般会計に計上されております道負担金の保険基盤安定拠出金の2,122万4,000円を4分の3としまして、町の負担分としての4分の1を合わせまして2,830万円の予算計上であります。

款4繰越金については、1,000円の予算計上であります。

471ページにかけての款5諸支出金の各項、各目につきましては、それぞれの実績からの予算計上であります。

それでは、前に戻っていただきまして第1条の1項におきまして、歳入歳出予算の款項区分及び金額につきましては、460ページの第1表のとおりとするものであります。

以上、平成24年度後期高齢者医療特別会計の予算編成のご説明を申し上げますのでご審議方よろしくお願いいたします。

続きまして、議案第 21 号 平成 24 年度津別町介護保険事業特別会計予算についてご説明申し上げます。平成 24 年度介護保険事業特別会計の予算編成につきましては、平成 24 年度から新たに始まります第 5 期介護保険事業計画に基づくとともに、前年度の実績を勘案しながら積算を行ったところでありますが、このところ新規認定者が増加の傾向にあることから、保険給付費の伸びなどを見込み当初前年比では 2.4%、1,089 万円の増といたしまして、第 1 条におきまして歳入歳出をそれぞれ 4 億 5,770 万円と定めたところであります。なお、1 号被保険者の保険料につきましては、平成 24 年度からの介護報酬改定などの諸般の状況をかんがみ値上げ案も検討いたしましたが、このところ予算の執行状況を勘案し、今期は介護保険準備基金を繰り入れながら安定した財政運営を図ることができると見込み、さきの介護保険条例の改正でご承認いただきましたとおり、第 4 期保険料と同じく同額の 2,800 円に据え置くことといたしました。また、介護認定の状況につきましては、平成 23 年 12 月末で 352 人となり平成 23 年 3 月と比較しまして 18 人の増、出現率は 16.09% となり、このところ認定者数及び出現率とも増加している状況にありますが、平成 24 年度においては高齢者の保険医療福祉を取り巻く環境の変化等に適切に対応し、高齢者が要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域において継続して生活できるよう第 5 期介護保険事業計画に基づき事業を行ってまいります。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げますので 486 ページをお開き願います。486 ページから 491 ページは款 1 総務費であります。昨年との比較で 323 万 7,000 円の減で 1,743 万 2,000 円の予算計上ではありますが、要因としましては、人事異動による職員配置に伴う給与費の減が主なものであり、総務一般事務費徴収費介護認定審査会費、項 4 計画策定委員会費につきましては、おおむね前年と同様の予算編成となっております。

続きまして 490 ページから 495 ページまでは、款 2 保険給付費であります。保険給付費につきましては、このところの状況を勘案いたしまして、総体としましては前年比 1.8%、755 万 4,000 円の増の 4 億 2,518 万 6,000 円の予算計上であります。内訳ではありますが、項 1 介護サービス等諸費、目 1 居宅介護サービス給付費の居宅介護サービス等給付費経費につきましては、訪問介護、短期入所生活介護、通所介護などが

主なものですが、このところの実績等を勘案しながら全体的な伸びを見込みまして、9,160万円の予算計上であります。

492ページにかかりますが、目2施設介護サービス給付費につきましては、特養等の介護施設に係るものですが、これまでの実績から見込みまして2億106万3,000円の予算計上であります。

492ページの目3福祉用具購入給付経費と目4居宅介護住宅改修給付費につきましては、実績を勘案しまして前年と同じく、それぞれ110万円と220万円の予算計上であります。

目5居宅介護サービス計画給付費につきましては、ケアプラン作成費用であります。実績から件数の増を見込みまして2,326万円の予算計上であります。

目6地域密着型介護サービス給付費につきましては、認知症対応型共同生活介護で、グループホーム関係となりますが、対象者を18名で積算するとともに入所者の介護度を加味して算定したことから、5,381万5,000円の予算計上であります。

続きまして、項2介護予防サービス等諸費、目1介護予防サービス給付費の介護予防サービス給付費経費につきましては、494ページにまたがりませんが要支援認定者への介護サービスとしまして、このところの実績を勘案しながら全体の伸びを見込みまして1,719万4,000円の予算計上であります。

項4高額介護サービス等費及び項5高額医療合算介護サービス等費並びに項6特定入所者介護サービス等費につきましては、このところの実績を勘案しながら、それぞれ900万、250万、2,307万円の予算計上であります。

次に、496ページから504ページまでは、款3地域支援事業費であります。地域支援事業費につきましては、高齢者の方々が地域において自立した日常生活を営めるように介護予防事業などをおして支援することを目的とした事業の予算であります。このところの実績を勘案いたしまして総額では、前年比15%増の966万9,000円の予算計上であります。内訳であります。項1予防事業費、目1一次予防事業費につきましては、これまでの転倒予防教室と介護予防事業費の経費となりますが、新たに地域の中で3事業を展開するための予算を加えまして164万2,000円の予算計上あります。

同じく、498 ページにかけての目 2 二次予防事業費につきましては、二次予防事業経費としまして主にミズナラ倶楽部の運営に係る予算となりますが、410 万 6,000 円の予算計上であります。なお、この二つの事業につきましては、これまでは特定高齢者という表現を使っておりましたが、諸般の事情からそれぞれ一次予防、二次予防という名称に変更しております。

項 2 包括的支援・任意事業費、目 1 介護予防ケアマネジメント事業費につきましては、地域包括支援センター職員の研修旅費などとしまして、30 万 9,000 円の予算計上であります。

500 ページの目 2 総合相談事業費につきましては、高齢者のための総合的な相談支援体制のための事務経費であります。新たに介護サービスマップ作成のための印刷代 20 万円を加えまして 30 万円の予算計上であります。

502 ページになりますが、目 5 総務管理費につきましては、地域包括支援センターの事業経費としまして 69 万 7,000 円の予算計上であります。

504 ページの目 6 任意事業費につきましては、理学療法士による町内介護スタッフへの研修に係る費用とメール配信システム保守管理業務増により前年比 26 万 1,000 円増の 23 万 4,000 円の予算計上であります。

506 ページの款 4、項 1、目 1 基金積立金の介護給付費準備金の積立金につきましては、基金利息積立金と財政安定化基金取り崩し分として、527 万 4,000 円の予算計上であります。

款 5 公債費、款 6 諸支出金につきましては、前年同様の科目設定であります。

続きまして、歳入のご説明を申し上げますので、480 ページ、481 ページをお開き願います。款 1 保険料であります。目 1 第 1 号被保険者保険料としまして、被保険者数を前年当初より 20 人減の 2,142 人で積算いたしまして、前年対比 1.8%、113 万 4,000 円減の 6,311 万円の予算計上であります。

款 2、項 1 手数料、目 1 地域支援介護予防事業手数料につきましては、通所介護予防事業として行っておりますミズナラ倶楽部の参加手数料といたしまして 90 万円、目 2 地域支援包括的支援任意事業手数料につきましては、生活援助員派遣事業に対します本人負担分としまして 3 人、月 4 回としまして 4 万 8,000 円のそれぞれ予算計上で

あります。

款3 国庫支出金につきましては、歳入におきまして保険給付費を前年より増額して積算しましたことから、総額で267万6,000円増の1億837万1,000円の予算計上であります。内訳であります。項1 国庫負担金、目1 介護給付費負担金につきましては、施設給付費に対して15%、居宅給付費に対して20%の国の負担分としまして、合わせて7,311万9,000円の予算計上であります。

項2 国庫補助金、目1 調整交付金につきましては、保険給付費の7.66%として3,256万9,000円の予算計上、目2 地域支援介護予防事業交付金につきましては、介護予防事業経費の25%として121万2,000円の予算計上、目3 地域支援包括的支援任意事業交付金につきましては、包括的支援事業・任意事業経費の40%として147万1,000円の予算計上であります。

482ページの款4、項1 支払基金交付金、目1 介護給付費交付金につきましては、2号被保険者分の介護納付金としまして、保険給付費の29%として1億2,330万3,000円の予算計上、目2 地域支援事業交付金につきましては、介護予防事業費の29%として140万5,000円の予算計上であります。

次に、款5 道支出金、項1 道負担金、目1 介護給付費負担金につきましては、施設給付費に対して17.5%、居宅費に対しまして12.5%の道の負担金としまして、合わせて6,506万5,000円の予算計上であります。

項2 道補助金、目1 地域支援介護予防事業交付金につきましては、介護予防事業経費の12.5%として60万6,000円の予算計上、目2 地域支援包括支援・任意事業交付金につきましては、包括的支援事業・任意事業経費の20%として73万5,000円の予算計上であります。

項3 財政安定化基金支出金につきましては、保険料の上昇を抑えるための道からの財政安定化基金取り崩し分として523万3,000円の予算計上であります。

款7 繰入金、項1 一般会計繰入金、目1 介護給付費繰入金につきましては、町の負担分としまして保険給付費に対する12.5%、5,314万9,000円の予算計上であります。

484ページにかけての目2 地域支援介護予防事業繰入金につきましては、町の負担分として介護予防事業経費に対する12.5%、60万6,000円の予算計上、目3 地域支援包

括的支援・任意事業繰入金につきましては、包括的支援事業・任意事業経費に対する20%の町の負担分と補助対象外事業の19万6,000円を合わせまして93万1,000円の予算計上、目4その他一般会計負担金としましては、人件費や一般事務経費、審査会経費などを合わせまして1,743万1,000円の予算計上であります。

項2、目1基金繰入金につきましては、財源補填としまして準備基金から1,501万7,000円、財政安定化基金取り崩し分の基金繰入金として174万4,000円、それぞれ繰入することとして、合わせて1,676万1,000円の予算計上であります。

款8繰越金、款9諸収入につきましては、科目設定とあわせて所要の予算計上をさせていただきますところ です。

それでは、前に戻っていただきまして、第1条の2項におきまして、歳入歳出予算の款項の区分及び金額につきましては475ページ、476ページの第1表のとおりとするものであります。

第2条につきましては、歳出予算の流用について定めたものであります。

以上、平成24年度介護保険事業特別会計の予算編成のご説明を申し上げますので、ご審議方よろしくお願ひいたします。

○議長（鹿中順一君） 暫時休憩をします。

休憩 午後 2時 13分

再開 午後 2時 30分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

◎議案第22号

○議長（鹿中順一君） 続いて、日程第6、議案第22号 平成24年度津別町介護サービス事業特別会計予算について説明を求めます。

特養園長。登壇の上説明願ひます。

○特養園長（徳田博一君） [登壇] ただいま議長より発言のお許しをいただきましたので、議案第22号 平成24年度津別町介護サービス事業特別会計予算案につき

まして、内容の説明を申し上げます。

平成 12 年度よりスタートしました介護保険制度につきましては、本年で 12 年目を迎え、地域に定着し多くの方々に各種介護サービスのご利用をいただいております。この間、国は 3 年ごとに介護報酬の改定を行い本年 4 月にも 4 回目の報酬改定が行われます。今回の報酬改定では、特養及び短期入所における多床室の利用単価の引き下げや、デイサービスにおける時間区分の見直しに伴う利用単価の引き下げが見込まれるなど、介護サービス事業の運営にはますます厳しいものが予想されてございます。今回の新年度予算編成にあたりましては、予算編成時に報酬単価が未確定であったこともございまして、現行の報酬単価を用いて積算してありますので、どうかご了承願います。

それでは、予算の概要についてご説明申し上げます。予算総額は 2 億 8,060 万円で、前年度比 460 万円、1.7%増となっております。この主な要因といたしましては、デイサービスでの介護浴槽の更新並びに居宅介護支援事業所での業務連絡車両の購入が主なものでございます。

歳入におきましては、特養、デイサービス、介護支援事業の 3 事業におけますサービス収入総額で 2 億 6,536 万 8,000 円、前年度比 0.1%増でございます。特養利用料及び自己負担金では、入園者の平均年齢が 88 歳と高齢であります。体調を崩し入院するケースも多くみられますことから年間の稼働率を 93%と見込み前年度比 0.9%減となっております。短期入所利用料及び自己負担金収入におきましては、年々利用者の増加傾向にあり、前年度比 11.6%増となっております。デイサービス事業におきましては、祝日営業や空利用の促進を図り利用者の獲得に努めてまいりますが、予防給付対象者の利用減を見込み、前年度比 0.5%減でございます。介護支援事業所のケアプラン作成料におきましては、高齢化率及び出現率の上昇に伴いケアプラン作成件数の増により前年度比 4.1%増となっております。

それでは、予算書に基づきまして歳出よりご説明を申し上げたいと思います。予算書 522 ページ、523 ページをごらんいただきたいと思います。款 1 施設管理費、目 1 特養施設費の給与費につきましては、特養正規職員 12 名分の予算計上でございます。

次に、特養施設運営費 7,764 万 7,000 円につきましては、前年度比 14 万 3,000 円の

増となっております。

525 ページをごらんいただきたいと思います。臨時職員に係る賃金でございます。前年同様介護職員、看護職員、調理員など 20 名分の賃金となっております。報償費の職員研修講師 16 万円につきましては、本年度施設運営並びに職員の資質向上を図るため外部講師を招いての研修会を計画し、その講師への謝礼金でございます。旅費につきましては、前年比 19 万 9,000 円増の 27 万 5,000 円でございますが、これは介護支援専門員の 5 年ごとの資格更新年度にあたりますことから、旭川市での講習会参加旅費を計上したものでございます。

次に、527 ページの需用費、賄材料費につきましては、年間稼働率を前年より 1%減の 93%と見込みましたことから、前年度比 15 万 1,000 円減でございます。委託料、それから使用料及び賃借料につきましては、前年同様の内容で予算計上してございます。

次に、529 ページでございます。負担金補助及び交付金で、諸会議が前年度比 13 万 2,000 円増の 16 万 2,000 円となっておりますが、介護支援専門員の資格更新に係る講習会参加負担金を予算計上したことによるものでございます。

次に、特養施設管理経費でございますが、2,706 万 6,000 円であります。前年度比 50 万 8,000 円の減となっております。この主な要因としましては、需用費の燃料で、ペレットの購入量の減、さらには備品購入費における前年の地デジ対応機器購入が、本年度におきましては事業完了しているということもございまして減となっております。

531 ページの委託料でございますが、前年度比 37 万 3,000 円の増となっております。施設管理業務における清掃では、隔年実施の窓ガラス清掃の実施年であること、さらにはペレットボイラーに係る煤煙測定費用を予算計上したことによるものでございます。

次に、特養施設入所者経費でございますが需用費、消耗品費におきまして、新聞購読料並びに入園者用のタオル、ティッシュペーパー、歯磨き粉等の日用品の購入費用を前年同様に予算計上したものでございます。

次に、533 ページにございます短期入所事業経費でございますが、ショートステイ利用者に係ります臨時職員賃金、それから賄材料費を予算計上してございます。ショー

トステイ利用者の増を見込み、前年度比 17 万 6,000 円の増でございます。

続きまして、デイサービス費であります。給与費は正規職員 1 名分を予算計上してございます。

533 ページから 537 ページのデイサービス運営経費 2,053 万 6,000 円、これにつきましては前年度比 570 万 4,000 円の減となっておりますが、前年度は備品購入費において、デイサービス利用者送迎用車両及び昼食を運ぶための温冷配膳車の購入事業がありました。本年はこれらの事業が完了したことによるものでございます。

次に、537 ページのデイサービス管理経費 1,318 万 4,000 円でございます。前年度比 21 万 7,000 円の増とほぼ前年同規模の予算計上でございますが、委託料におきまして隔年実施の窓ガラス清掃費用と地下タンク内部清掃費用を予算計上したところでございます。

次に、539 ページ中段にございますデイサービス施設整備事業につきましては、介護浴槽更新費用としまして 761 万 3,000 円を予算計上したものでございます。この介護浴槽につきましては、デイサービスセンターがオープンしたのにあわせて設置をした車椅子浴槽でございまして、設置後 17 年が経過し、老朽化が極めて著しい状況にありますことから更新をお願いするものでございます。

続きまして、款 2 介護支援事業費 1,969 万 8,000 円、これにつきましては前年度比 189 万 7,000 円の増となっておりますが、主な要因といたしましては、業務連絡車の更新、それから給与費におけます共済費等の事業主負担率の改正に伴う給与費の増によるものでございます。給与費 1,449 万 5,000 円につきましては、正規職員 2 名分を予算計上したものでございます。

次に、541 ページ、居宅介護支援事業経費 520 万 3,000 円は、前年度比 125 万 7,000 円の増となっております。賃金の臨時職員 262 万 1,000 円は、前年に引き続きまして 1 名のケアマネージャーを雇用の上、ケアプラン作成業務を遂行するものでございます。

次に、543 ページ、備品購入費でございます。平成 11 年に取得しましたケアマネージャーの業務連絡車両が極めて著しい状況にございます。このことから車両の更新をお願いするものでございます。購入を予定する車両につきましては、軽自動車という

こととさせていただきます。

次に、544 ページ、545 ページにあります公債費の利子につきましては、一時借入を行った場合の利息を前年同額の 2 万円、さらには予備費につきましては例年同様 30 万円の予算計上でございます。

続きまして、歳入にお戻り願います。518 ページ、519 ページをごらん願います。款 1 サービス収入 2 億 6,536 万 8,000 円は、特養、デイサービス、介護支援事業所、それぞれの事業収入の総額でございます。前年度比 26 万 7,000 円の増となっております。特養利用料収入、目 1 の施設介護サービス費収入の 1 億 5,823 万 1,000 円は特養の稼働率を 93%と推計したものであり、介護報酬の 9 割相当分でございます。短期入所介護給付利用料収入につきましては、要介護 1 から要介護 5 の利用者を 1 日平均 3.5 人を見込み積算をしたものでございます。短期入所予防給付利用料収入につきましては、要支援 1、要支援 2 の利用者を年間 10 日間の利用を見込みました。デイサービス介護給付利用料収入につきましては、要介護 1 から要介護 5 の利用者を 1 日平均 17.6 人、年間 4,536 人で積算したものでございます。デイサービス予防給付利用料収入は、要支援 1、要支援 2 の利用者を 1 日平均 4.4 人、年間 1,140 人の利用を見込んだものでございます。

次に、目 3 居宅介護サービス計画費収入の居宅ケアプラン作成料収入は、要介護 1 から 5 の方々のケアプラン作成件数を 85 件、介護予防サービス計画作成料収入では要支援 1、要支援 2 の方々のケアプラン作成件数を 48 件と見込み積算したものでございます。

次に、項 2 自己負担金収入につきましては、各種サービス利用料の 1 割負担分、食費、居住費等を積算の上予算計上したものでございます。

次に、520 ページ、521 ページの繰入金でございますが、特養、デイサービス、介護支援事業におけます歳入不足分としまして一般会計より繰り入れをお願いするものでございます。繰越金につきましては、科目設定で 1,000 円の予算計上でございます。

次に、諸収入の雑入であります。臨時職員に係る雇用保険料個人負担分で 30 万 2,000 円、デイサービス車両使用料 56 万 4,000 円、これにつきましては、デイサービス車両を教育委員会に貸し出しをして、その使用料ということでございます。その他

の2万2,000円につきましては、介護支援事業所の連絡車更新に伴う自賠責保険料、任意保険料の払戻金ということでございます。

それでは、条文にお戻りいただきまして513ページをごらんいただきたいと思えます。第1条におきまして、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億8,060万円と定めるものでございます。第2項におきまして、ただ今ご説明申し上げました内容を款項区分ごとにまとめ、第1表に記載してございます。

第2条、一時借入金につきましては、借入最高額を2,000万円とするものでございます。

以上で、内容の説明を終わりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

◎議案第23号～議案第25号

○議長（鹿中順一君） 続いて日程第7、議案第23号 平成24年度津別町下水道事業特別会計予算についてから日程第9、議案第25号 平成24年度津別町上水道事業会計予算についてまでの3件について、順次説明を求めます。

建設課長。登壇の上説明願ひます。

○建設課長（上野安男君） [登壇] ただ今議長から発言のお許しをいただきましたので、建設課所管の3会計の予算につきまして説明申し上げます。

最初に、議案第23号 平成24年度津別町下水道事業特別会計予算の内容について説明を申し上げます。

予算の概要であります。平成24年度予算の総額は、3億8,950万円で、対前年比20万円、0.1%の減となりました。これは、特環下水道費、戸別排水費、及び集落排水費ともに増となっているものの、平成23年度において完済しました起債償還額の減に伴い本年度公債費が減となったことが要因であります。前々年度から実施しておりますマンホール蓋改築更新事業について本年も取り組みます。また、下水道全体計画の見直し及び認可変更、マンホールポンプ場長寿命化計画について策定いたします。個別排水事業につきましては、新設5基を見込みました。その他につきましては、施設の維持管理な主なものでございます。

それでは、551ページをお開きください。第1条で歳入歳出予算の総額を歳入歳出そ

れぞれ3億8,950万円とするものであります。第2項以下につきましては、後ほど説明します。

歳出のほうからご説明申し上げますが、前年度と比べ主に変わった部分を中心に説明申し上げますのでご了承いただきたいと思っております。568ページ、569ページをお開きください。款2特環下水道費であります。目1管渠管理費、管渠管理経費、工事請負費においては、町道の改良舗装工事となります町道71号線、町道131号線の公共汚水柵布設替工事66万1,000円を計上いたしました。

次に、574ページ、575ページをお開きください。項2下水道整備費、目1下水道整備費については、管渠等施設整備事業（補助）において委託料として、下水道全体計画見直し及び認可計画変更業務として840万円、マンホールポンプ所長寿命化計画策定業務504万円を計上しました。工事請負費、汚水マンホール蓋改修工事として26か所の蓋改修、634万2,000円を計上いたしました。備品購入費につきましては、下水道管理センターの下水道汚泥を堆肥センターに運搬する車両が導入から20年を経過し、老朽化したため更新費用として584万3,000円を計上するものでございます。

576ページ、578ページをお開きください。款3個別排水費、項1個別排水管理費において、委託料で浄化槽蓋が腐食により老朽化したため、製作費用として102万9,000円を計上するものでございます。

同じく、項2個別排水整備の個別排水整備事業では、前年同様の5基の新設経費として実施測量設計業務113万4,000円及び工事請負費として1,000万円を計上するものであります。

次に、580ページ、581ページをごらんください。款4集落排水費、項1集落排水管理費、処分場管理経費の委託料において、機能診断調査業務340万2,000円を計上いたしました。この調査につきましては、平成21年度において策定しました下水道中期ビジョン、下水道経営の課題に対する施策方針で示された農業集落排水と特環下水道との接続計画に向けて現状の集落排水施設の機能診断調査業務として計上するものでございます。

款5公債費につきましては、償還元金で642万6,000円、次の582ページ、583ページで利子で489万3,000円の減となりました。いずれも起債償還完了によるものでござ

ざいます。

款6 予備費につきましては、前年同様 50 万円を計上してございます。

それでは、歳入にお戻りください。558 ページ、559 ページをお開きください。款1 分担金及び負担金は、目1 下水道負担金で現年度 5 万 7,000 円、滞納繰越分として 3 万 2,000 円を計上いたしました。目2 個別排水受益者分担金は、5 基分の 50 万円を計上してございます。

次に、款2 使用料及び手数料は、項1 使用料で本年 4 月 1 日より改定されるため、前年比 11.5%増の 7,522 万 4,000 円を計上したところでございます。

次に 560 ページ、561 ページ、款3 国庫補助金は、全体計画の見直し及び認可変更、長寿命化計画策定事業、汚泥運搬車購入事業による補助金として社会資本整備総合交付金として 1,281 万 2,000 円を計上いたしました。

款4 繰入金は、使用料の増、公債費の減に伴い前年比 3.4%減の 2 億 8,364 万 4,000 円を計上いたしました。

次に、562、563 ページをごらんください。項2 の雑入ですが、汚泥投入施設運転費用として 898 万 4,000 円は、一般のし尿処理費用負担金を計上いたしました。また、町道 71 号線、町道 131 号線の改良舗装工事に伴う汚水柵移設補償として 66 万 1,000 円を計上したところでございます。

款7 町債は、前年度と同額の 750 万円を計上いたしました。

552 ページ、553 ページをお開きください。先ほど説明しました部分を款項区分ごとに整理したものでございます。

次に、第2 条の地方債につきましては、554 ページの第2 表に個別排水事業としての限度額 750 万とするものでございます。

551 ページに戻っていただきまして第3 条につきましては、一時借入金について定めているものでございます。借入金の最高額を 2,000 万円とするものでございます。

以上、下水道事業特別会計について説明申し上げましたので、よろしく願いいたします。

592 ページをお開きください。平成 24 年度簡易水道事業特別会計について説明申し上げます。予算の概要でございますが、平成 24 年度予算の総額は 4,330 万円で前年比

760 万円、14.9%の減となりました。これは、給水施設整備事業の減等によるものでございます。

それでは、第1条で、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 4,330 万円とするものであります。第2項以下につきましては、後ほど説明します。

予算書の歳出から説明いたします。601 ページをお開きください。款1総務費、目1一般管理費の前年比 1,004 万 9,000 円の減は、前年度において実施した大昭配水池計装機器更新、布川減圧弁更新工事、給水ポンプ更新工事が完了したことによって減となったものでございます。

605 ページ、606 ページをお開きください。款2公債費、項1公債費、目1元金では、特別地方債元金が新たに元金償還が始まるため前年比 293 万 1,000 円の増の 2,350 万 9,000 円を計上いたしました。利子では、48 万 2,000 円減の 528 万 8,000 円を計上したところでございます。

607、608 ページの予備費につきましては、前年同額の 10 万円を計上いたしました。

歳入にお戻りいただきたいと思っております。597、598 ページをお開きください。款2使用料及び手数料ですが、使用料につきましては前年度の実績から推計したものであり、給水人口の減による家事用及び業務用の減、工業用、営農用は前年並みに見込み、前年比 2.9%減の 942 万 3,000 円を見込んだところでございます。

次に、款3繰入金では、給水施設整備事業の減により 8.4%の減、3,386 万円を計上するものであります。

款4繰越金及び 599 ページ、600 ページの款5諸収入の雑入は、いずれも科目設定でございます。

593 ページに戻っていただきまして、第1表は款項区分ごとにまとめたものでございます。

592 ページ、第2条の一時借入金であります。一時借入の最高額を 200 万円とするものであります。

以上、簡易水道事業特別会計につきまして説明申し上げましたのでよろしく願いいたします。

続きまして、平成 24 年度上水道事業会計予算について説明申し上げます。615 ペー

ジをお開きください。上水道事業会計につきましては、例年どおりの内容で計上しているところがございます。上水道事業会計につきましては、企業会計ということで独立採算制でありまして、本年につきましても一般会計の繰入金なしということで事業会計を組んでいるところがございます。条文のほうを見ていただきたいと思います。第1条は、総則であります。第2条業務の予定量ということで、給水戸数 2,259 戸、年間総給水量、上水で 62 万 5,000 立方、原水 23 万 5,000 立方、日平均給水量、上水 1,712 立方、原水 643 立方、主な建設改良事業としまして上水道中央監視装置機器更新工事など 7,612 万 1,000 円を計上いたしました。

第3条及び第4条につきましては、後ほど説明申し上げます。

次のページ、616 ページであります。第5条は企業債であります。中央監視装置機器更新工事に係る起債として限度額 5,500 万円とするものであります。

第6条では、一時借入金の限度額が 5,000 万円とするものであります。

第7条につきましては、議会の議決を経なければ流用することのできない経費について職員給与費 1,348 万 8,000 円と定めているものであります。

第8条につきましては、たな卸資産の購入限度額 489 万 2,000 円と定めているところでございます。

最初に収益的収入及び支出であります。619 ページから説明申し上げます。収益的収入の総額は 1 億 3,299 万 3,000 円で、前年比 85 万 9,000 円 0.7%の減を見込みました。給水人口の減少により家事用の減を、業務用、工業用、病院用、営農用は、前年並みを見込んだところでございます。

次に、収益的支出であります。622 ページをお開きください。収益的支出の総額は、1 億 2,871 万 4,000 円で、前年比 1,012 万円、8.5%の増となりました。

624 ページをお開きください。目 2、配水及び給水費については、配給水施設の修繕において前年比 585 万 5,000 円の減となりましたが、前年に仕切弁の不良個所等の改修工事が終了したことによるものであります。

629 ページ、項 5 資産減耗費において、中央監視装置機器更新に伴う固定資産除却費の増によるものであります。

次に、630 ページ、項 2 営業外費用、目 2 消費税は前年比 105 万 4,000 円減の 161 万

円を計上いたしました。631 ページの予備費については、前年と同額の 15 万円を計上するものであります。

634 ページの資本的収入及び支出であります。資本的収入は 5,724 万 7,000 円であります。企業債として中央監視装置機器更新工事 5,500 万、工事負担金として道路改良工事に伴う配水管移設として 224 万 7,000 円を計上いたしました。

次に、635 ページ、資本的支出であります。前年比 2,018 万円増の 1 億 638 万 6,000 円を計上いたしました。工事請負費では、下水道管理センターにおいて設置しております上水道中央監視装置が設置から 13 年が経過し、更新費用として 5,544 万円を計上いたしました。上里浄水場滅菌薬注入機器更新は、設置後 16 年を経過していることから更新するものであります。豊永地区減圧弁につきましても 26 年を経過しているところから更新を行うものでございます。町道 71 号線の配水管移設工事は、町道の改良舗装工事に伴うものであります。

項 2 のメーター設置費の量水器では、新設 24 戸、期間満了の 244 戸の更新を行うものであります。

634 ページ、企業債償還金であります。元金償還金は、前年比 1,802 万 5,000 円減の 3,026 万 5,000 円を計上してございます。

637 ページをお開きください。水道事業会計資金計画ですが、本年度の受入資金 3 億 8,335 万 3,000 円、支払資金 1 億 8,984 万 1,000 円となり、差し引き 1 億 9,351 万 2,000 円となるものであります。

次に、638 ページの損益計算書でございますが、中身については割愛させていただきますが、下から 3 行目の当年度純利益を 427 万 9,000 円を見込んでございます。

639、640 ページは、24 年度の予定貸借対照表でございますが、これにつきましては、23 年度の決算見込みに 24 年度予定を加減して作成しているところでございます。

640 ページの下から 5 行目を見ていただきたいと思います。当年度純利益 427 万 9,000 円を見込んでございます。

次に、641 ページをお開きください。これにつきましては、平成 23 年度損益計算書でございます。中身については割愛させていただきますが、下から当年度純利益 1,368 万 3,000 円を予定しているところでございます。

次に、642、643 ページをお開きください。これにつきましては、平成 23 年度の予定貸借対照表であります。これにつきましては、決算見込みということであります。

615 ページにお戻りください。第 3 条につきましては、先ほど収入、支出あわせて説明申し上げましたが、水道事業収益につきましては、1 億 3,299 万 3,000 円とするものであります。支出につきましては、1 億 2,871 万 4,000 円とするものであります。

第 4 条の資本的収入及び支出につきましては、収入で企業債及び工事負担金として 5,724 万 7,000 円を計上いたしました。支出につきましては、建設改良費及び企業債償還金を合わせて 1 億 638 万 6,000 円を計上いたしました。資本的支出額における不足額 4,913 万 9,000 円は過年度分損益勘定留保資金 4,824 万 1,000 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 89 万 8,000 円で補填いたします。

以上、上水道事業会計についてご説明申し上げましたので、この 3 会計につきましてご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） ご苦労さまでした。

以上で、平成 24 年度の各会計の予算説明は、すべて終わりました。

◎延会の議決

○議長（鹿中順一君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

◎休会の議決

○議長（鹿中順一君） 次に、議案調査のため、3 月 9 日から 3 月 13 日までの 5 日間休会したいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

◎延会・休会の宣告

○議長（鹿中順一君） したがって、本日はこれで延会し、議案調査のため3月9日から3月13日までの5日間休会とすることに決定しました。

再開は、3月14日午前10時です。

ご苦労さまでした。

（午後3時11分）